

平成 30 年度 事業計画



ご利用者と
介護者の
二人三脚で...

社会福祉法人
海望福祉会
KAIBOUFUKUSHIKAI
” 蜃気楼が見える老人ホーム ”

社会福祉法人 海望福祉会

【理 念】

『ありがとう』と『ほほえみ』

『ご利用者主義』

【使 命】

■福祉事業を通し、地域社会へ貢献する

■ライフサポーターとして、トータルケアマネジメントに貢献する

ライフサポーター

個人のトータルケアマネジメントを、尊厳やQOL(クオリティオブライフ)の観点から、看取りを含めて介護サービスを通し支援する専門職。

トータルケアマネジメント

社会福祉法人は、個人が生まれてから亡くなるまでの一生(ライフステージ)を通して、サービスを提供していかなくてはならない。
その個人の一生に必要な支援サービスをマネジメントすること。

目 次

社会福祉法人海望福祉会

1	基本方針	1
2	組織機構	5
3	各委員会担当一覧表	6
4	年間行事計画表	7

事業計画

1	特別養護老人ホームあんどの里(本館)	9
2	特別養護老人ホームあんどの里(東館)	10
3	あんどの里デイサービスセンター	11
4	あんどの里居宅介護支援事業所	12
5	障害者支援施設ひゞき	13
6	デイサービス友道	14
7	あんどの里ありそ館	15
8	花みずき(稲荷町)	16
9	花みずき弐番館	17
10	花みずき参番館	18

サービス改善のための評価及び目標内容

1	特別養護老人ホームあんどの里(本館)	19
2	特別養護老人ホームあんどの里(東館)	21
3	特別養護老人ホームあんどの里(生活相談員)	23
4	あんどの里デイサービスセンター	24
5	障害者支援施設ひゞき	26
6	デイサービス友道	29
7	あんどの里ありそ館	31
8	花みずき(稲荷町)	33
9	花みずき弐番館	35
10	花みずき参番館	38

1 基本方針

第4次魚津市総合計画【第10次基本計画：平成28年度～平成32年度】

整合

魚津市地域福祉計画

【平成29年度～平成33年度】

富山県民福祉基本計画
【平成29年度～平成33年度】

整合

魚津市子ども・子育て支援事業計画(H27～H31)
魚津市障がい者基本計画(H27～H31)
魚津市障がい福祉計画(H27～H31)
魚津市高齢者保健福祉計画(H27～H29)
魚津市介護保険事業計画(H27～H29)

連携

連携・支援

【関連個別計画】
魚津市地域防災計画(S39～)
魚津市健康増進プラン(H28～H37年度)
魚津市教育振興基本計画(H28～H32年度)

海望福祉会

魚津市地域福祉活動計画（市社協）
【平成29年度～平成33年度】

魚津市高齢者保健福祉計画及び
介護保険事業計画推進委員会委員として参画

第4次魚津市総合計画
「心躍る うるおいの舞台 魚津 笑顔で絆つなぐまち」

《 基本理念 》

みんなが安心して暮らし続けることができる地域づくりのために
～地域共生社会の構築をめざして～

基本目標	施策
1. 地域を元気にするひとづくり	①社会参加と自立の促進 ②福祉活動の担い手育成
2. 安心して暮らせる地域づくり	①協働による福祉社会の推進 ②福祉サービス基盤の充実
3. 地域で支えあうしくみづくり	①人権を尊重した相談体制の推進 ②地域包括ケアシステムの推進

《 平成30年度海望福祉社会基本方針 》

1. 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)において、行政や地域と協働して、通所介護、通所型サービスAを推進する

2. 福祉施設入所事業、通所系事業、居宅介護支援事業、移動支援事業、ショートステイでの看取力向上などを通し、医療と介護との連携力を高め、地域包括ケアシステムの構築に貢献する

3. 在宅医療と介護との連携を図り、重度要介護者やがんの末期の方に対し、看取りを含む生活全体を支え、地域に貢献する

4. 富山県福祉避難所として、地域住民との研修会や避難訓練を定期的に行い、地域の災害予防対策に貢献する

5. 被災時におけるBCM(事業継続マネジメント)、BCP(事業継続計画)を策定する

6. 地域における公益的な取り組み
①日常生活または社会生活上の支援を必要とする方に対して、社会福祉法人として支援に取り組む
②ユニバーサル就労支援を促進し、中間的就労や地域での自立した生活を創造できるよう、支援技術を高める
③他機関と協働し、移動支援を行い、地域で自立生活を営むことが困難な方々の生活継続を支援する

7. 法人経営の安定化(目標:当期活動増減差額5千万)、情報公開、コンプライアンスの徹底、ガバナンスの確立に努める

8. 働きやすく魅力ある職場づくりに努める
①ICT化・介護ロボットの導入を進め、職場の業務改善を推進する
②円滑な人材採用・育成・定着化を、全職員と協働で取り組む
③腰痛予防対策推進福祉施設として取り組んだ改善内容を、全事業所に定着させ、介護業務従事者の身体的負担の軽減を図る

これからの社会福祉法人に求められるもの

社会福祉法人の使命(社会的責任・社会貢献)の遂行

社会、地域における福祉の発展・充実

- ①社会福祉事業を主とした福祉サービスの供給主体の中心的役割を果たす
- ②制度の狭間にあるものを含め地域の様々な福祉需要にきめ細かく対応する

公共的・公益的かつ信頼性の高い法人経営の原則



社会福祉法人行動規範＝求められる取組課題

I. 利用者に対する基本姿勢

人権の尊重
サービスの質の向上
地域との関係の継続
生活環境・利用環境の向上

III. 福祉人材に対する基本姿勢

トータルな人材マネジメントの推進
人材の確保に向けた取り組みの強化
人材の定着に向けた取り組みの強化
人材の育成

II. 社会に対する基本姿勢

地域における公益的な取り組みの推進
信頼と協力を得るための情報発信

IV. マネジメントに対する基本姿勢

コンプライアンスの徹底
組織統治の確立
健全な財務規律の確立
経営者としての役割

法人の重点課題

- ① サービスの質の向上
- ② 地域における公益的な取り組み
- ③ 信頼と協力を得るための情報発信
- ④ 人材の確保に向けた取り組みの強化
- ⑤ 組織統治(ガバナンス)の確立

4 年間行事計画表

月	行事区分	特別養護老人ホーム あんの里	あんの里 デイサービスセンター	障害者支援施設 ひゞき	デイサービス 友道	あんの里ありそ館	花みずき(稲荷町)	花みずき番館	花みずき参番館
4	利用者関係	・花見の会 ・誕生会	・花見の会 ・誕生会 ・手作りおやつ ・フラワーアレンジメント	・花見の会 ・手作りおやつ ・頭脳ゲーム ・川柳	・花見の会 ・誕生会 ・お楽しみ湯 ・手作りおやつ	・花見の会 ・誕生会 ・手作りおやつ	・花見の会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・お花見ドライブ ・花まつりコンサート ・手作りおやつ ・誕生会・演奏会 ・みんなでクッキング	・花見の会 ・手作りおやつ ・喫茶ドライブ ・誕生会
	事業所関係	・前年度事業報告 ・消防設備点検 ・インターシップ	・前年度事業報告 ・消防設備点検 ・インターシップ	・前年度事業報告 ・消防設備点検 ・インターシップ	・前年度事業報告 ・消防設備点検 ・避難訓練(火災)	・前年度事業報告 ・消防設備点検 ・避難訓練(夜間想定)	・前年度事業報告	・前年度事業報告 ・害虫駆除 ・勉強会	・前年度事業報告 ・害虫駆除 ・運営推進会議
5	利用者関係	・母の日プレゼント ・誕生会 ・ドライブ	・ドライブ ・誕生会 ・お楽しみ湯(菖蒲湯) ・手作りおやつ	・よっしゃこいCHOUROKU ・誕生会 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・ドライブ ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯(菖蒲湯) ・開放日(チャレンジデー)	・ドライブ ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯(菖蒲湯) ・演奏会	・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯 ・園児交流(苗植え)	・ランチツアー ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・みんなでクッキング	・鯉のぼり作り ・手作りおやつ ・誕生会 ・ドライブ ・おしゃれな店でランチ
	事業所関係	・内部監査 ・全館害虫駆除	・内部監査 ・全館害虫駆除	・内部監査 ・全館害虫駆除	・内部監査 ・町内クリーン大作戦参加	・内部監査	・内部監査 ・避難訓練 ・害虫駆除	・内部監査 ・避難訓練 ・消防設備点検	・内部監査 ・避難訓練 ・消防設備点検
6	利用者関係	・魚津神社祭礼見学 ・父の日プレゼント ・七夕かざり ・誕生会 ・総合避難訓練	・魚津神社祭礼見学 ・ドライブ ・誕生会 ・七夕かざり ・手作りおやつ ・総合避難訓練 ・フラワーアレンジメント	・魚津神社祭礼見学 ・七夕かざり ・頭脳ゲーム ・川柳	・魚津神社祭礼見学 ・ドライブ ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・開放日(骨密度測定)	・魚津神社祭礼見学 ・七夕かざり ・手作りおやつ ・誕生会 ・ドライブ	・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・保育園児との交流会 ・手作りおやつ ・富山駅見学ツアー ・新緑ドライブ ・誕生会 ・お楽しみ湯 ・演奏会	・出張健康講座 ・手作りおやつ ・誕生会 ・ショッピング ・鱒ずし体験教室
	事業所関係	・総合防災避難訓練 ・消防設備点検	・総合防災避難訓練 ・消防設備点検	・総合防災避難訓練 ・消防設備点検	・害虫駆除 ・インターシップ ・アンケート実施	・避難訓練 ・消防設備点検	・衛生管理研修 ・社会に学ぶ14歳の挑戦 ・勉強会	・衛生管理研修 ・ワックス清掃	・運営推進会議 ・無料健康診断
7	利用者関係	・納涼祭 ・七夕まつり ・ショッピング ・誕生会 ・家族会総会	・七夕まつり ・誕生会 ・手作りおやつ ・納涼祭	・納涼祭 ・誕生会 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・七夕まつり ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯	・七夕まつり ・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・誕生会	・七夕まつり ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・七夕まつり ・道の駅ツアー(新湊) ・みんなでクッキング ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会(沖縄民謡)	・七夕まつり ・あじさい見物ドライブ ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・バーベキュー大会
	事業所関係	・社会に学ぶ14歳の挑戦 ・インターシップ	・社会に学ぶ14歳の挑戦 ・インターシップ	・社会に学ぶ14歳の挑戦 ・インターシップ	・害虫駆除 ・インターシップ	・害虫駆除	・職員定期健康診断 ・害虫駆除	・勉強会	・職員定期健康診断
8	利用者関係	・誕生会 ・ドライブ	・誕生会 ・流しそうめん ・デイサービス夏祭り ・フラワーアレンジメント	・魚津海上花火大会見学 ・手作りおやつ ・頭脳ゲーム ・川柳	・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・開放日(夏祭り)	・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・誕生会 ・演奏会	・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・納涼ツアー ・保育園児との交流会 ・手作りおやつ ・誕生会・演奏会 ・みんなでクッキング	・納涼花火大会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・ショッピング
	事業所関係	・大掃除	・大掃除	・大掃除	・大掃除 ・せりこみ蝶六街流し参加	・大掃除	・大掃除 ・消防設備点検	・大掃除 ・勉強会	・大掃除 ・運営推進会議
9	利用者関係	・米寿のお祝い ・敬老会 ・誕生会 ・ドライブ ・定期健康診断	・ドライブ ・敬老会 ・誕生会 ・手作りおやつ	・ドライブ ・定期健康診断 ・誕生会 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・ドライブ ・敬老会 ・誕生会 ・手作りおやつ ・開放日(ふれあいデー)	・敬老会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・お楽しみ湯	・秋祭り(バイキング) ・敬老会・お楽しみ湯 ・手作りおやつ ・誕生会・演奏会 ・社会見学	・少人数グループ外出 ・秋祭り ・手作りおやつ ・誕生会 ・みんなでクッキング	・敬老会 ・富山県立近代美術館見学 ・誕生会 ・大岩不動素麺ツアー ・ネイルエステ
	事業所関係	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断 ・運営推進会議 ・避難訓練(地震)	・職員定期健康診断 ・地域密着運営推進会議	・害虫駆除	・防災避難訓練 ・アンケート実施 ・職員定期健康診断 ・運営推進会議	・防災避難訓練 ・アンケート実施

月	行事区分	特別養護老人ホーム あんの里	あんの里 デイサービスセンター	障害者支援施設 ひゞき	デイサービス 友道	ありそ館	花みずき(稲荷町)	花みずき式番館	花みずき参番館
10	利用者関係	・避難訓練 ・誕生会 ・運動会	・避難訓練 ・ドライブ ・誕生会 ・手作りおやつ ・フラワーアレンジメント	・避難訓練 ・ドライブ ・手作りおやつ ・頭脳ゲーム ・川柳	・ドライブ ・手作りおやつ ・運動会	・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・誕生会 ・バイキング ・運動会	・保育園児交流会(収穫) ・運動会 ・手作りおやつ・誕生会 ・演奏会・お楽しみ湯 ・菊祭り鑑賞	・運動会・紅葉狩り ・保育園児との交流会 ・手作りおやつ ・誕生会・演奏会 ・みんなでクッキング	・運動会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・コスモス見物ドライブ ・園芸教室
	事業所関係	・内部監査 ・防災避難訓練 ・貯水槽清掃	・内部監査 ・防災避難訓練 ・貯水槽清掃	・内部監査 ・防災避難訓練 ・貯水槽清掃	・内部監査	・内部監査 ・避難訓練	・内部監査 ・避難訓練	・内部監査 ・勉強会 ・害虫駆除・消防設備点検	・内部監査 ・運営推進会議 ・害虫駆除・消防設備点検
11	利用者関係	・誕生会 ・手作りおやつ	・運動会 ・ショッピング ・誕生会 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・運動会 ・ショッピング ・誕生会 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・ドライブ ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・本江地区文化祭 出展 ・開放日(健康相談会)	・手作りおやつ ・焼き芋会 ・誕生会 ・お楽しみ湯 ・演奏会	・紅葉狩り ・手作りおやつ(焼き芋) ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・ささらや工場見学 ・紅葉ドライブ ・誕生会 ・演奏会 ・手作りおやつ ・みんなでクッキング	・紅葉狩り・焼き芋会 ・菊祭り鑑賞 ・手作りおやつ ・誕生会 ・ドライブ ・秋祭り大鍋大会
	事業所関係	・全館害虫駆除 ・レジオネラ菌検査	・全館害虫駆除 ・レジオネラ菌検査	・全館害虫駆除 ・レジオネラ菌検査	・避難訓練(火災) ・消防設備点検		・勉強会	・勉強会	
12	利用者関係	・もちつき会 ・クリスマス会 ・まゆ玉作り ・誕生会	・もちつき会 ・まゆ玉作り ・干支作り ・誕生会 ・フラワーアレンジメント ・ゆず湯 ・デイサービス忘年会 ・手作りおやつ	・もちつき会 ・クリスマス会 ・まゆ玉作り ・忘年会 ・頭脳ゲーム ・川柳	・忘年会 ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯(ゆず湯) ・曜日対抗ゲーム大会	・クリスマス会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・お楽しみ湯(ゆず湯) ・干支作り	・保育園児との交流 ・クリスマス会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・お楽しみ湯 ・演奏会	・クリスマス会 ・保育園児との交流会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・忘年会 ・演奏会 ・みんなでクッキング	・クリスマス会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・ゆず湯 ・餅つき
	事業所関係	・消防設備点検 ・大掃除	・消防設備点検 ・大掃除	・消防設備点検 ・大掃除	・大掃除	・大掃除 ・消防設備点検	・大掃除 ・消防設備点検	・大掃除 ・ワックス清掃	・大掃除 ・運営推進会議
1	利用者関係	・新年お祝い ・七草粥 ・誕生会 ・正月遊び ・鏡開き	・新年お祝い・書初め ・七草粥 ・誕生会 ・お茶会 ・手作りおやつ	・新年お祝い ・七草粥 ・誕生会 ・正月遊び ・書初め ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・新年お祝い 初詣 ・七草粥 ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯	・新年お祝い 正月遊び ・七草粥 ・手作りおやつ ・誕生会 ・もちつき会 ・演奏会	・新年お祝い ・初詣 ・書初め・初茶の会 ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・新年お祝い・鏡開き ・初詣 ・書初め ・みんなでクッキング ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会	・新年お祝い・七草粥 ・鏡開きぜんざい ・書初め ・初詣ドライブ ・誕生会 ・初釜お茶会
	事業所関係	・新年度事業計画策定	・新年度事業計画策定	・新年度事業計画策定	・新年度事業計画策定 ・友道町内新年会参加	・新年度事業計画策定 ・害虫駆除	・新年度事業計画策定 ・レジオネラ菌検査	・新年度事業計画策定 ・レジオネラ菌検査	・新年度事業計画策定 ・レジオネラ菌検査
2	利用者関係	・節分(豆まき) ・誕生会	・節分(豆まき) ・誕生会 ・ひな人形作り ・手作りおやつ ・フラワーアレンジメント	・節分(豆まき) ・頭脳ゲーム ・手作りおやつ ・川柳	・節分(豆まき) ・涅槃団子お守り作り ・手作りおやつ ・お楽しみ湯	・節分(豆まき) ・ひな人形作り ・手作りおやつ ・誕生会	・節分(豆まき) ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・節分(豆まき) ・手作りおやつ ・保育園児との交流会 ・みんなでクッキング ・誕生会 ・演奏会	・バレンタインデー ・節分豆まき ・誕生会 ・演奏会
	事業所関係					・レジオネラ菌検査	・勉強会	・運営推進会議	
3	利用者関係	・ひな祭り ・誕生会	・ひな祭り ・誕生会 ・手作りおやつ	・ひな祭り ・誕生会 ・定期健康診断 ・頭脳ゲーム ・映画鑑賞会	・ひな祭り ・誕生会 ・手作りおやつ ・お楽しみ湯 ・開放日(ふれあいデー)	・ひな祭り ・お茶会 ・誕生会 ・演奏会	・ひな祭り ・手作りおやつ ・誕生会 ・演奏会 ・お楽しみ湯	・ひな祭り ・お茶会 ・誕生会・演奏会 ・みんなでクッキング ・手作りおやつ	・ひな祭り ・手作りおやつ ・誕生会 ・カラオケ大会
	事業所関係	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断	・職員定期健康診断 ・避難訓練(地震) ・運営推進会議	・職員定期健康診断 ・地域密着運営推進会議	・職員定期健康診断 ・消防設備点検	・職員定期健康診断 ・運営推進会議	・職員定期健康診断

サービス改善のための評価及び目標内容

1 特別養護老人ホームあんの里(本館)

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優)
B 全般的によくできている(良)

C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

特別養護老人ホームあんの里(本館)

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度 実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
① 日 常 生 活 援 助 サ ー ビ ス	食 事	食事をおいしく、楽しく食べるための食堂の雰囲気作りを行っていますか。	A 季節を感じられるような食堂フロアの飾り付けをご利用者と一緒に行う	A	行事委員会が中心となり季節を感じられる飾り付けを行った	A	行事委員会を開催し、季節ごとの飾り付けを定期的に行う	A
		食事の選択が可能になっていますか。	C 選択メニューを提供できるように管理栄養士と検討する	A	選択メニューについて検討することができなかった	C	選択メニューの実施ができるように管理栄養士と検討する	A
		温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供されていますか。	A 適温で食事提供する	A	適温で食事を提供した	A	適温で食事を提供する	A
		食事介助は、ご利用者のペースに合わせていますか。	A 朝の申し送り等で食事の介助方法について検討する	A	ご利用者のペースに合わせて食事介助を行った	A	ご利用者の状態に変化が見られた際は、食事介助の方法をこまめに検討する	A
		健康上の必要から食事に配慮が必要なご利用者に対して、適切な食事が提供されていますか。	A 状態変化があれば、直ぐに食事形態等を検討する	A	状態変化に合わせて、専門職を交えて検討を行い提供した	A	ご利用者の嚥下状態に合わせて、食事形態を検討する	A
	入 浴	入浴以外の日でも、希望があれば入浴あるいはシャワー浴ができますか。	A 入浴日以外の入浴の希望に沿える体制づくりについて検討する	A	希望があればいつでも可能な限り入浴していただいた	A	入浴日以外でも希望があれば入浴できる体制を整える	A
		身体状況に応じた入浴方法(形態)をとっていますか。	A 状態変化があれば、直ぐに入浴の介助方法について検討する	A	状態変化に合わせて入浴方法を見直し、実施した	A	ご利用者に状態変化が見られたら、入浴形態の検討をする	A
		入浴時、裸体を他の人(介助者は除く)に見せない工夫をとっていますか。	C 職員に入浴マニュアルを周知徹底する	A	マニュアルの確認は行ったが、定期的な業務の確認を行うことができなかった	B	定期的に入浴マニュアルの見直しを行い、周知する	A
	排 泄	オムツカバー・便器等の種類がご利用者に適したものを使用するよう配慮されていますか。	A 身体状態に合わせて、排泄用品の見直しをする	A	状態に合わせて見直しを行い、職員間で統一した介助が行えるように検討をした	B	ご利用者の状態変化に合わせて排泄用品を検討する	A
		寝たきり	寝たきり防止、寝食分離。	A 体調を見ながら、離床の支援をして、食堂にご案内する	A	できるだけ離床し、食堂で食事を召し上がっていただくように努めた	A	ご利用者のその日の体調を見ながら、できる限り離床していただく
	日中は寝巻きから日常着に着替えるようにしていますか。		C ご利用者の希望に沿えるように体制を整える	A	着替えの希望のある方できないことがあった	B	ご利用者からの着替えの希望に沿えるよう、定期的に体制の見直しを行う	A
	自立援助	日常生活動作の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけ自分で取り組んでいただけるように配慮していますか。	A 自立に向けて支援できるケアプランを立案する	A	ケアプランに沿って実施できるようにした	A	ご利用者の自立に向けて支援できるプランを立案し周知する	A
		ご利用者の障害の形態により、自立生活の為に自助具や補装具などが準備されていますか。	A 自助具や補装具など、必要物品を準備する	A	理学療法士と検討の上、必要な物品を準備した	A	ご利用者に合った自助具や補装具を準備する	A
	外出外泊	一人で外出することが困難なご利用者に対して、希望を聞き、計画的に外出の機会を確保していますか。	A 外出の希望を伺い、計画を立てる	A	外出の機会を設けることができた	A	外出を希望される方の計画を立てて実施する	A
		会 話	ご利用者への言葉遣いに特に注意し、その為の検討が行われていますか。	C 業務ミーティングや定期的なキャリアパス面談の際に、言葉遣いについて確認する	A	個人面談等で確認はしてしたが、全体で検討していくことができなかった	B	朝の申し送り時に定期的に確認する
	日常会話が不足しているご利用者に対して、言葉掛けと、相手の話に耳を傾けるように配慮していますか。		B 定期的な業務の見直しを行い、職員との会話の時間を保てるようにケアプランに取り入れる	A	言葉掛けを行うことを意識して業務に取り組んだ	B	ご利用者への言葉掛けを、業務の中に取り入れるように検討をする	A
	レクリエーション	レクリエーション等のプログラムは、ご利用者が積極的に参加されやすいような計画、実施がなされていますか。	B 行事についての希望を伺い、計画を立てる	A	行事委員が中心となり計画を立てて実施した	A	行事委員会が中心となり計画を立てる	A
		レクリエーション活動(クラブ活動)は、趣味・娯楽などを活かした小グループで行われ、ご利用者が自由に選択できる多彩なメニューをそろえていますか。	C レクリエーションの研修会等に参加し、メニューや種類を増やす	A	レクリエーションのメニューを増やすことができなかった	B	ご利用者の趣味を活かしたレクリエーションを計画し、実施する	A
	認知症 ご利用者	認知症ご利用者の方に対する生活上の配慮・プログラムが計画されていますか。	A 認知症に関する外部研修に参加し、認知症ケアの理解を深める	A	外部研修に参加し、認知症ケアについて施設実習を行い知識を深めた	B	認知症の委員会活動を見直し、施設内での研修を行う	A
		認知症ご利用者の方に対しては、夜間安眠できるように、日中できるだけ活動的な生活を援助していますか。	A カンファレンスごとに検討を行い、活動的な生活を支援する	A	カンファレンスを中心に日中の活動を見直しを行った	A	ご利用者にできる限り合わせた日中活動を検討する	A
認知症ご利用者の方が安心して生活できるよう環境が整備されていますか。		A 要望や意見をいただいたときには、直ぐに改善について検討する	A	ご利用者の状態に合わせて環境整備を行った	A	ご利用者の要望を伺い、可能な限り環境を整える	A	
ご利用者の 自由選択	テレビ・新聞・雑誌・図書等が自由に利用できますか。	A 新聞や図書、テレビなどを、自由に利用できるように環境に配慮する	A	自由に利用できるようにした	A	新聞や雑誌、テレビなどは、いつでも利用できるように環境を整える	A	
	外部と自由に通信(電話・ファクシミリ・手紙等)することができますか。	A 希望時にはいつでも電話・手紙等の通信手段を利用できるように支援する	A	希望があれば、いつでも利用できるように支援した	A	電話・手紙等の通信手段は、ご利用者からの希望があればいつでも利用できるようにする	A	
サ② 専 門 的	看護・介護	常に転倒防止に心がけていますか。	A 転倒の危険があるときには、直ぐに検討し、対策を立てる	A	転倒の可能性がみられる方は必要な対策を検討して実施するよう努めたが、対応が遅くなったことがあった	B	定期的なリスクマネジメント委員会を開催し、対策を検討する	A
		骨折や誤飲等の緊急事故が発生した場合の対応を、日頃から訓練していますか。	C 計画を立てて、必要な勉強会を開催する	A	緊急対応の勉強会について、計画を立てて実施することができなかった	C	緊急時対応の勉強会を開催する	A
		感染症(かいせん・MRSA等)に対する対策は検討されていますか。	A 感染予防委員会が中心となり、感染症予防対策について、定期的に見直しをする	A	勉強会の計画を立てて施設内研修を実施した	A	感染予防委員会が中心となり、研修会の計画や感染予防対策を検討する	A

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
サ② 専 門 的	リハビリテーション	リハビリテーション活動が訓練室のプログラムに終わるのではなく、ご利用者の生活の場においても「生活のリハビリテーション」として実際に役立つように指導していますか。	A	生活リハビリについて定期的に検討し、統一したケアの実施に繋げるように指導する	A	理学療法士に相談しながら、日常生活にリハビリを取り入れた	B	日常生活リハビリについて、ケアプランを中心に取り入れ、統一したケアを実施する	A
		ケースごとにリハビリテーションの立案(評価・目標設定・実施計画)をし、定期的にケース会議を行い、計画の見直しを行っていますか。	A	定期的にカンファレンスを開催し、リハビリテーションの計画の見直しをする	A	定期的にカンファレンスを開催し、計画の見直しを行った	A	定期的にカンファレンスを開催し、計画の見直しを行う	A
	社会サービス	ご家族関係についての相談に応じ、適切な調整を行っていますか。	A	ご家族からの相談に応じ、タイムリーに対応する	A	ご家族から相談があった際には、タイムリーに対応した	A	タイムリーにご家族からの相談に応じ、調整する	A
③ 施 設 整 備	施設整備	施設全体の雰囲気は、ご利用者の快適性に配慮していますか。	A	快適に過ごしていただくように、ご利用者・ご家族から要望や意見があった際には、タイムリーに対応を検討する	A	ご利用者・ご家族から要望があった際は、タイムリーに検討を行った	A	ご利用者・ご家族からの要望に沿えるように、タイムリーに検討する	A
		自助具や車椅子を使用することを前提に、施設整備の配慮がなされていますか。	C	定期点検を実施し、毎月リスクマネジメント委員会で、施設設備の点検結果を確認する	A	車椅子やその他備品等の定期点検ができなかった	C	車椅子や介護用品などの定期点検を確実に実施する	A
		ご利用者のニーズに応じる為、個室、二人部屋の配慮がなされていますか。	A	ご利用者・ご家族の希望に沿うように居室の配慮をする	A	ご利用者・ご家族の希望に沿えるよう配慮した	A	ご利用者・ご家族の希望に沿えるよう居室の配慮をする	A
		ご利用者がくつろげるデイルームや談話室がありますか。	A	ご利用者がお好きな場所で落ち着いて過ごせるように配慮する	A	落ち着いて過ごせる環境作りに努めた	A	くつろぎスペースの検討を定期的に行い、ご利用者の状態に合わせた空間を検討する	A
		車椅子・杖・歩行者・自助具等、ご利用者が自立のために必要な設備・器具を利用できるよう配慮していますか。	C	定期点検を実施し、毎月リスクマネジメント委員会で、車椅子や歩行者等の点検結果を確認する	A	理学療法士、介護支援専門員が中心となり、必要な物品を準備した	A	定期的カンファレンス時に必要物品の検討をおこなっていく	A
		私物収納スペースは充分確保されていますか。	A	ご利用者に応じた収納スペースを確保する	A	環境整備に努め、ご利用者に応じた収納スペースを確保した	A	必要な収納スペースを確保する	A
		各ベッド及びトイレや浴室のナースコールは円滑に作動していますか。	A	定期的な点検を行い、不備があった際には、速やかにナースコールの修理をする	A	ナースコールの不備は無かった	A	ナースコールの定期点検が行える体制を整える	A
		ご家族が宿泊したり、利用できる部屋がありますか。	A	物品が不足しないように、定期的にご家族用の宿泊セットを点検する	A	宿泊セットの物品の確認を行い、いつでも宿泊できるようにした	A	ご家族がいつでも宿泊できるように物品を準備する	A
環 境	施設内環境整備	施設は清潔ですか。	A	清掃の頻度や清掃方法を定期的に検討する	A	清掃ができない日があり、清潔な状態が保てなかった	C	清掃方法の見直しを定期的に行う	A
		施設に異臭はありませんか。	A	臭いが発生した際には、速やかに臭いの原因を取り除き、消臭に努める	A	館内の消臭に配慮し、清潔を保つことができた	B	換気や消臭剤を使用し、館内の消臭に努める	A
		事故防止のために、常に床や段差、照明などの環境の安全に気を配っていますか。	C	定期点検を実施し、毎月リスクマネジメント委員会で、施設設備の点検結果を確認する	A	定期的に委員会は開催したが環境不備について検討することができなかった	C	委員会開催時、定期点検をおこなっていく	A
④ 運 営	職員への教育研修	施設の趣旨及び運営理念を職員に徹底させていますか。	C	年度初めにミーティングを開催し、運営理念について周知する	A	年度初めにミーティングを開催できなかった	C	施設の方針や理念を確認するため、年度初めにミーティングをシフトに組み込み、全職員に周知する	A
		体位交換、起立、移動や車椅子操作をはじめ、福祉機器など基本的日常生活における動作介助技術の訓練を職員に行っていますか。	A	年間計画を立てて、介護技術研修を実施する	A	福祉用具使用の介助技術や新人リハビリ研修を開催した	A	計画に沿って研修会を実施する	A
		新任職員のための系統的なプログラムがありますか。	C	キャリアパス表を用いて、育成指導をする	A	キャリアパス表を用いての面談を、計画的に行うことができなかった	C	育成指導者が中心となり、新任職員に合わせたプログラムを計画する	A
		職員研修や勉強会が企画されていますか。	A	施設内外の研修を受講する年間計画を立てる	A	年間計画に沿って研修を実施できた	A	年間計画を立て、計画通りに研修を受講できるようシフトに配慮する	A
		施設外の研修が企画され、計画的に行われていますか。	A	キャリアに応じた研修計画を立てる	A	年間の計画を立てたが実施できない時があった	B	年間の研修予定を計画的に立てていく	A
		職員の専用資格取得を積極的に進めていますか。	A	資格取得支援に努める	A	資格取得者が増えるように支援した	A	資格取得支援に努める	A
管 理	記録・調査	ご利用者からの、生活援助全般にわたる意見や評価についての調査・アンケートなどを行っていますか。	A	定期的にアンケートを実施する	A	定期的にアンケートを実施した	A	定期的にアンケートを実施する	A
		各種の記録は、適切に記入され、管理され、活用されていますか。	C	職員間で統一を図るために、申し送り時に、記録の仕方について検討する	A	申し送り時に記録について検討することはできたが、統一がなされているか確認しなかった	C	記入の統一を図るために、業務ミーティングなどで確認する	A
管 理	プライバシー	ご利用者の人権やプライバシー保護を最大限に配慮していますか。	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努める	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努めた	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努める	A
		ご利用者の情報については、外部に流出しないように配慮されていますか。	A	情報管理に努める	A	情報管理に努めた	A	情報管理に努める	A
	処遇計画等	個別ケアの目標・計画がご利用者の意見を取り入れて作成されていますか。	A	ご利用者の意見を取り入れたケアプランを立てる	A	要望を取り入れたケアプランを作成し、実施した	A	ケアプラン作成の際は、ご利用者・ご家族の意見を、可能な限り取り入れる	A
事故発生時の対応	不測の事故に備えて、各種の訓練及び各種保険制度の活用などの配慮がなされていますか。	B	リスクマネジメント研修開催に向けた年間計画を立てる	A	年間計画は立てたが、計画通りにできなかった	C	リスクマネジメント研修について、実行できる年間計画を立てる	A	
カンファレンス	ケース会議、事例研究会等を定期的に行っていますか。	A	定期的にカンファレンスを開催する	A	定期的にカンファレンスを開催した	A	定期的にカンファレンスを開催する	A	

2 特別養護老人ホームあんの里(東館)

- A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優) C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
 B 全般によくできている(良) D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

特別養護老人ホームあんの里(東館)

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標		
日	食 事	A	食事をおいしく、楽しく食べるための食堂の雰囲気作りを行っていますか。	A	環境を整え、落ち着いて食事を召し上がることができる雰囲気作りを心がける	A	季節ごとに飾りつけを行い、四季を感じていただけるよう努める	A		
		A	食事の選択が可能になっていますか。	A	カンファレンス毎に食事の希望を伺う	A	カンファレンス毎ではないが、話を聞きながら食事の希望に合わせた提供を行った	B	食事の好みを聞きながら、その都度提供を行う	A
		A	温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供されていますか。	A	お一人おひとりの生活リズムに合わせ、希望時間に適温で提供する	A	お一人おひとりの生活リズムに合わせ、希望時間に適温で提供できた	A	お一人おひとりの生活リズムに合わせ、希望時間に適温で提供する	A
		A	食事介助は、ご利用者のペースに合わせていますか。	A	ご利用者の体調やその日の気分、以前からの生活習慣を考慮し、お一人おひとりのペースに合わせた食事介助をする	A	ご利用者の体調やその日の気分、以前からの生活習慣を考慮し、お一人おひとりのペースに合わせた食事介助を行った	A	ご利用者の体調やその日の気分、以前からの生活習慣を考慮し、お一人おひとりのペースに合わせた食事介助をする	A
		A	健康上の必要から食事に配慮が必要なご利用者に対して、適切な食事が提供されていますか。	A	日々の関わりから嗜好・嚥下状態などの観察を行い、専門職を交えて検討し、適切な食事を提供する	A	日々の関わりから嗜好・嚥下状態などの観察を行い、専門職を交えて検討し、適切な食事を提供できた	A	日々の関わりから嗜好・嚥下状態などの観察を行い、専門職を交えて検討し、適切な食事を提供する	A
常 生	入 浴	A	入浴以外の日でも、希望があれば入浴あるいはシャワー浴ができますか。	A	体調に合わせていつでも入浴を提供できるよう体制を整える	A	体調に合わせた入浴を提供できた	A	体調に合わせていつでも入浴を提供できるよう体制を整える	A
		A	身体状況に応じた入浴方法(形態)をとっていますか。	A	ご利用者の身体状況の変化に応じて、その都度入浴方法を検討、実施する	A	ご利用者の身体状況の変化に応じて、その都度入浴方法を検討、実施できた	A	ご利用者の身体状況の変化に応じて、その都度入浴方法を検討、実施する	A
		A	入浴時、裸体を他の人(介助者は除く)に見せない工夫をとっていますか。	A	入浴マニュアルを見直し、プライバシー保護について職員全体に周知する	A	入浴マニュアルを見直し、プライバシー保護について職員全体に周知できた	A	入浴マニュアルを見直し、プライバシー保護について職員全体に周知する	A
活	排 泄	A	オムツカバー・便器等の種類がご利用者に適したものを使用するように配慮されていますか。	A	定期的な尿量測定を行い、ご利用者の身体状況に合わせた排泄用品・介助時間を検討、実施する	A	定期的な尿量測定を行い、ご利用者の身体状況に合わせた排泄用品・介助時間を検討、実施できた	A	定期的な尿量測定を行い、ご利用者の身体状況に合わせた排泄用品・介助時間を検討、実施する	A
		A	寝たきり防止、寝食分離。	A	お一人おひとりの生活に合わせた離床時間をケアプランに取り入れ、寝たきり防止、寝食分離に努める	A	お一人おひとりの生活に合わせた離床時間をケアプランに取り入れ、寝たきり防止、寝食分離に努めた	A	お一人おひとりの生活に合わせた離床時間をケアプランに取り入れ、寝たきり防止、寝食分離に努める	A
援	寝たきり	A	日中は寝巻きから日常着に着替えるようにしていますか。	A	ご利用者の希望を伺い、希望のある方やハビリ面から必要のある方には寝巻きから日常着への着替えの介助を行う	A	ご利用者の希望を伺い、希望のある方やハビリ面から必要のある方には寝巻きから日常着への着替えの介助を行った	A	ご利用者の希望を伺い、希望のある方やハビリ面から必要のある方には寝巻きから日常着への着替えの介助を行う	A
		A	日常生活動作の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んで頂けるように配慮していますか。	A	援助方法を周知し、定期的ミーティングを行い実施確認をする	A	援助方法を周知し、定期的ミーティングを行い実施確認を行った	A	援助方法を周知し、定期的ミーティングを行い実施確認をする	A
助	自立援助	A	ご利用者の障害の形態により、自立生活のための自助具や補装具などが準備されていますか。	A	カンファレンスの際に、自助具や補装具が必要となった場合は、理学療法士に相談の上、状態に合った物品を準備する	A	カンファレンスの際に、自助具や補装具が必要となった場合は、理学療法士に相談の上、状態に合った物品を準備できた	A	カンファレンスの際に、自助具や補装具が必要となった場合は、理学療法士に相談の上、状態に合った物品を準備する	A
		A	ご利用者への言葉遣いに特に注意し、そのための検討が行われていますか。	A	特に新人職員や勤続年数が短い職員を対象に、接遇・言葉遣い・敬語などの勉強会を計画する	A	新人職員や勤続年数が短い職員を対象に、接遇・言葉遣い・敬語などの勉強会を開催できた	A	特に新人職員や勤続年数が短い職員を対象に、接遇・言葉遣い・敬語などの勉強会を計画する	A
サ	会 話	A	日常会話が不足しているご利用者に対して、言葉がけと、相手の話に耳を傾けるように配慮していますか。	A	職員とふれあいの時間を持てるよう業務の見直しを行う	A	職員とふれあいの時間を持てるよう業務の見直しを行った	A	職員とふれあいの時間を持てるよう業務の見直しを定期的に行う	A
		A	レクリエーション等のプログラムは、ご利用者が積極的に参加されやすいような計画、実施がなされていますか。	A	年間計画に基づき、季節に応じたレクリエーションのプログラムを作成し、実施する	A	年間計画に基づき、季節に応じたレクリエーションのプログラムを実施できた	A	年間計画に基づき、季節に応じたレクリエーションのプログラムを作成し、実施する	A
ー	レクリエーション	A	レクリエーション活動は、趣味・娯楽などを活かした小グループで行われ、ご利用者が自由に選択できる多彩なメニューをそろえていますか。	A	ご利用者の身体状況を把握し、趣味や娯楽を活かしたレクリエーションを実施する	A	ご利用者の身体状況を把握し、趣味や娯楽を活かしたレクリエーションを実施できた	A	行事委員会を中心にご利用者の身体状況を把握し、趣味や娯楽を活かしたレクリエーションを実施する	A
		A	認知症ご利用者の方に対する生活上の配慮・プログラムが計画されていますか。	A	認知症マニュアルを作成し職員で統一する	A	認知症マニュアルを作成し職員で統一するための研修を行った	A	認知症に関する外部研修に参加し、伝達研修を通して職員全体の理解を深める	A
ビ	認知症ご利用者	B	認知症ご利用者の方に対しては、夜間安眠できるように、日中できるだけ活動的な生活を援助していますか。	B	日中の活動内容を検討し、活動時間を増やして支援する	A	日中の活動内容を検討したが、活動時間の増加にはつながらなかった	C	日中の活動内容を見直し、夜間の様子をケース記録へ記載する	A
		A	認知症ご利用者の方が安心して生活できるよう環境が整備されていますか。	A	ご利用者、ご家族の希望に沿い、その人らしく生活できるような環境整備に努める	A	ご利用者、ご家族の希望に沿い、その人らしく生活できるような環境整備に努めた	A	ご利用者、ご家族の希望に沿い、その人らしく生活できるような環境整備に努める	A
ス	外出外泊	A	一人を外出することが困難なご利用者に対して、希望を聞き、計画的に外出の機会を確保していますか。	A	定期的に公共施設などを利用し、小グループでの外出の機会を設ける	A	定期的に公共施設などを利用し、小グループでの外出の機会を設けた	A	定期的に公共施設などを利用し、小グループでの外出の機会を設ける	A
		A	テレビ・新聞・雑誌・図書等が自由に利用できますか。	A	お一人おひとりの好みを把握し、希望時、自由に利用できるようにした	A	お一人おひとりの好みを把握し、希望時、自由に利用できた	A	お一人おひとりの好みを把握し、希望時、自由に利用できるようにする	A
		A	外部と自由に通信(電話・ファクシミリ・手紙等)することができますか。	A	ご利用者の希望に合わせ通信手段(電話・手紙等)を提供する	A	ご利用者の希望に合わせ通信手段(電話・手紙等)を提供できた	A	ご利用者の希望に合わせ通信手段(電話・手紙等)を提供する	A

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
サ② 専 門 的	看護・介護	常に転倒防止に心がけていますか。	B	毎月リスク委員会を開催し居室環境について検討する	A	毎月リスク委員会を開催し、居室環境について検討した	A	毎月リスク委員会を開催し、居室環境について検討する	A
		骨折や誤飲等の緊急事故が発生した場合の対応を日頃から訓練していますか。	B	研修計画を立て職員でマニュアルを確認する	A	研修計画を立て、職員でマニュアルを確認した	A	研修計画を立て、職員でマニュアルを確認する	A
		感染症(かいせん・MRSA等)に対する対策は検討されていますか。	A	感染予防について、定期的に物品の整理をし、研修を行うことで統一した対応を行う	A	感染予防について、定期的に物品の整理をし、研修を行うことで統一した対応を行った	A	感染委員会を中心に研修を行うことで統一した対応を行う	A
	リハビリテーション	リハビリテーション活動が訓練室のプログラムに終わるのではなく、ご利用者の生活の場においても「生活のリハビリテーション」として実際に役立つように指導していますか。	A	日中活動の中にリハビリテーションを取り入れ、生活の向上に努める	A	日中活動の中にリハビリテーションを取り入れ、生活の向上に努めた	A	日中活動の中にリハビリテーションを取り入れ、生活の向上に努める	A
		ケースごとにリハビリテーションの立案(評価・目標設定・実施計画)をし、定期的にケース会議を行い、計画の見直しを行っていますか。	A	ケースごとのリハビリテーションについて、理学療法士から定期的に評価を受け、ケアプランとして立案し実施、評価、見直しを行う	A	ケースごとのリハビリテーションについて、理学療法士から定期的に評価を受け、ケアプランとして立案し実施、評価、見直しを行った	A	ケースごとのリハビリテーションについて、理学療法士から定期的に評価を受け、ケアプランとして立案し実施、評価、見直しを行う	A
社会サービス	ご家族関係についての相談に応じ、適切な調整を行っていますか。	A	生活相談員、ケアマネージャーと連携し、ご家族への連絡調整を密にする	A	生活相談員、ケアマネージャーと連携し、ご家族への連絡調整を密にできた	A	生活相談員、ケアマネージャーと連携し、ご家族への連絡調整を密にする	A	
③ 施 設 整 備 ・ 環 境	施設整備	施設全体の雰囲気は、ご利用者の快適性に配慮していますか。	A	季節に合わせて、ご利用者と一緒に飾りつけを行う	A	季節に合わせた飾りつけは行ったが、ご利用者と一緒に作業は行えなかった	B	家族懇談会の際に、施設の快適性について伺い、改善に努める	A
		自助具や車椅子を使用することを前提に、施設整備の配慮がなされていますか。	A	定期的に環境整備をし、快適な環境作り心がける	A	定期的に環境整備をし、快適な環境作り心がけた	A	定期的に環境整備をし、快適な環境作り心がける	A
		ご利用者がくつろげるデイルームや談話室がありますか。	A	ご利用者がくつろげるスペースとして、フロアの整備を行う	A	ご利用者がくつろげるスペースとして、フロアの整備を行った	A	ご利用者がくつろげるスペースとして、フロアの整備を行う	A
		車椅子・杖・歩行器・自助具等、ご利用者が自立のために必要な設備・器具を利用できるよう配慮していますか。	A	ご利用者の身体機能に合わせて、理学療法士の指示のもと適切な用具・物品を提供する	A	ご利用者の身体機能に合わせて、理学療法士の指示のもと適切な用具・物品を提供できた	A	ご利用者の身体機能に合わせて、理学療法士の指示のもと適切な用具・物品を提供する	A
		私物収納スペースは充分確保されていますか。	A	物品の管理がしやすい配置に収納スペースを確保する	A	物品の管理がしやすい配置に収納スペースを確保した	A	物品の管理がしやすい配置に収納スペースを確保する	A
		各ベッド及びトイレや浴室のナースコールは円滑に作動していますか。	A	常にナースコールが正常に作動するよう点検を行い、故障の際は早急に修理する	A	常にナースコールが正常に作動するよう点検を行い、故障の際は早急に修理できた	A	常にナースコールが正常に作動するよう点検を行い、故障の際は早急に修理する	A
		ご家族が宿泊したり、利用できる部屋がありますか。	A	ご家族が快適に過ごせる物品を常備し、要望があれば随時対応する	A	ご家族が快適に過ごせる物品を常備し、要望があれば随時対応できた	A	ご家族が快適に過ごせる物品を常備し、要望があれば随時対応する	A
	施設内環境整備	施設は清潔ですか。	A	施設内の環境整備と共に、清潔な状態を保つ	A	施設内の環境整備と共に、清潔な状態を保つことができた	A	施設内の環境整備と共に、清潔な状態を保つ	A
		施設に異臭はありませんか。	C	時間を決めて換気をし、常に消臭に心がける	A	時間を決めて換気をしたが、毎日とはいかなかった	C	排泄後は消臭剤の噴霧や換気を行い、消臭を行う	A
		事故防止のために、常に床や段差、照明などの環境の安全に気を配っていますか。	A	ご利用者が安全に過ごすための環境に気を配り、故障や不備があれば直ぐに修繕をする	A	ご利用者が安全に過ごすための環境に気を配り、故障や不備があれば直ぐに修繕を行った	A	環境の不備があれば直ぐに修繕を行い、対応が困難な際は申し送りにて修繕が滞らないようにする	A
④ 管 理 運 営	職員への教育研修	施設の趣旨及び運営理念を職員に徹底させていますか。	A	法人理念について定期的にユニット会議にて確認する	A	法人理念について定期的にユニット会議にて確認を行った	A	ユニット内研修の年間計画の中で、運営理念について理解し、職員全体の統一をはかる	A
		体位交換、起立、移動や車椅子操作をはじめ、福祉機器など基本的日常生活における動作介助技術の訓練を職員に行っていますか。	A	理学療法士による研修会を定期的に行う	A	理学療法士による研修会を定期的に行った	A	理学療法士による研修会を定期的に行う	A
		新任職員のための体系的なプログラムがありますか。	B	新人職員に対し定期的な面接・指導を行う	A	新人職員に対し定期的な面接・指導を行った	A	新人職員に対し定期的な面接・指導を行う	A
		職員研修や勉強会が企画されていますか。	B	研修の年間計画を立て実施する	A	年間計画通りにはいかないが概ね実施できた	B	研修の年間計画を立て実施する	A
		施設外の研修が企画され、計画的に行われていますか。	A	研修案内を行い希望に合わせて研修に参加する	A	研修案内を行い希望に合わせて研修に参加できた	A	研修案内を行い希望に合わせて研修に参加する	A
		職員の専用資格取得を積極的に進めていますか。	A	資格取得者が増えるよう支援する	A	資格取得者が増えるよう支援した	A	資格取得者が増えるよう支援する	A
	記録・調査	ご利用者からの、生活援助全般にわたる意見や評価についての調査・アンケートなどを行っていますか。	A	家族懇談会の際に事業所に対する要望を確認し、また、定期的にアンケートを実施することで、サービス改善を図る	A	家族懇談会の際に事業所に対する要望を確認し、また、定期的にアンケートを実施することで、サービス改善を図った	A	家族懇談会の際に事業所に対する要望を確認し、また、定期的にアンケートを実施することで、サービス改善を図る	A
		各種の記録は、適切に記入され、管理され、活用されていますか。	A	ユニット共有ファイルを活用し、情報の管理を行う	A	ユニット共有ファイルを活用し、情報の管理を行った	A	ユニット共有ファイルを活用し、情報の管理を行う	A
	プライバシー	ご利用者の人権やプライバシー保護を、最大限に配慮していますか。	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努める	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努めた	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理に努める	A
		ご利用者の情報については、外部に流出しないように配慮されていますか。	A	個人情報の流出がないように、職員への指導を徹底する	A	個人情報の流出がないように、職員への指導を徹底できた	A	個人情報の流出がないように、職員への指導を徹底する	A
処遇計画等	個別ケアの目標・計画がご利用者の意見を取り入れて作成されていますか。	A	ご本人・ご家族の意見を取り入れ、個別ケア計画をたてる	A	ご本人・ご家族の意見を取り入れ、個別ケア計画をたてた	A	ご本人・ご家族の意見を取り入れ、個別ケア計画をたてる	A	
事故発生時の対応	不測の事故に備えて、各種の訓練及び各種保険制度の活用などの配慮がなされていますか。	A	緊急対応マニュアル(火災・災害、ご利用者の容態急変など)の見直しを行い、職員で統一する	A	緊急対応マニュアル(火災・災害、ご利用者の容態急変など)の見直しを行い、職員で統一できた	A	緊急対応マニュアル(火災・災害、ご利用者の容態急変など)の見直しを行い、職員で統一する	A	
カンファレンス	ケース会議、事例研究会等を定期的に行っていますか。	A	委員会ごとに研修内容を決め、計画的に会議を行う	A	委員会ごとに研修内容を決め、計画的に会議を行った	A	委員会ごとに研修内容を決め、計画的に会議を行う	A	

3 特別養護老人ホームあんの里
(本館・東館・生活相談員共通項目)

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる (優)
B 全般的によくできている (良)
C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある (可)
D 重要な事項または多くの項目において未達成である (不可)

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標		
その他 の サ ー ビ ス	入退所に関する項目	A	入所申込時には、施設内を自由に見学いただけることをお知らせし、より多くの皆様に施設内を見学していただく見学の際は、施設概要をよく理解していただけるよう、介護サービスや入後の生活について説明する	A	入所申込時に、パンフレットをご覧いただきながら、施設概要や入所後の生活、健康管理の体制等について説明した また、施設内の見学を希望された際には、施設内を案内した	A	入所申込時には、施設内を自由に見学いただけることをお知らせし、より多くの皆様に施設内を見学していただく見学の際は、施設概要をよく理解していただけるよう、介護サービスや入所後の生活について説明する	A		
		A	入所にあたって ①施設の利用法 ②ご利用者や職員の状況 ③サービスの内容等、生活上必要な事柄について、必ず説明していますか。	A	入所にあたっては、重要事項説明書に基づき、施設の利用法やサービスの内容、ご利用者の状況や職員の配置状況等について分かりやすく説明するとともに、生活を送る上で必要となる医療費等の支払い方法についても、併せて説明を行う	A	入所にあたっては、重要事項説明書に基づき、施設の利用法やサービスの内容、ご利用者の状況や職員の配置状況等について分かりやすく説明するとともに、生活を送る上で必要となる医療費等の支払い方法についても、併せて説明を行う	A		
		A	入所にあたり、ご利用者の状態などの説明を本人・ご家族にわかりやすく行い、同意を得ていますか。	A	入所時には、ケアマネジャー・介護職員・看護職員・管理栄養士・生活相談員等の専門職が、ご利用者・ご家族に、ご利用者の心身の状態をわかりやすくご説明する	A	入所時には、ケアマネジャー・ご利用者・ご家族・ケアマネジャー・介護職員・看護職員・管理栄養士・生活相談員が参加する家族懇談会を開催し、ご利用者の現在の状態を確認し合い、今後の生活について話し合った	A	入所時に、ケアマネジャー・介護職員・看護職員・管理栄養士・生活相談員等の専門職が、ご利用者・ご家族に、ご利用者の心身の状態をわかりやすくご説明する	A
		A	退所にあたり、その退所先へのご利用者の状態に関する情報提供は、適切に行われていますか。	A	退所時には、各専門職が連携し、速やかに退所先へ情報提供を行う	A	総合病院に入院され、病気療養のため、そのまま退所となる事例があった 入院時には、看護サマリーを作成し、情報提供を行った	A	退所時には、各専門職が連携し、速やかに退所先へ情報提供を行う	A
	在宅支援	A	在宅支援をするために、デイサービス・ショートステイを実施していますか。	A	空床が発生した時は、居宅介護支援事業所へ速やかに情報提供を行い、在宅支援に努める また、週末にショートステイのニーズが高まることから、空床がある時は、毎週木曜日にFAXで空床についての情報提供を行う	A	空床が発生した時は、居宅介護支援事業所へ速やかに情報提供を行った 行政や警察署と連携して、親族から虐待を受けている高齢者の緊急ショートステイの利用も受け入れた (魚津市自立ショートステイ事業)	A	空床が発生した時は、居宅介護支援事業所へ速やかに情報提供を行い、在宅支援に努める また、緊急を要する場合には、関係機関と連携し、速やかにショートステイの受入れ態勢を整える	A
		A	訪問活動などのサービスを実施していますか。	A	在宅ケアマネジャーやかかりつけの主治医、他の介護サービス事業者との連携を図り、在宅支援に努める	A	在宅ケアマネジャーと連携し、自宅や病院等で開かれるサービス担当者会議に参加し、在宅支援に努めた	A	在宅ケアマネジャーやかかりつけの主治医、他の介護サービス事業者との連携を図り、在宅支援に努める	A
地 域 福 祉	協力医療機関	A	内科・外科・精神科・歯科等、協力医療機関と十分な連携が取れ、必要ときに適切な措置を講じるようにしていますか。	A	協力医療機関へ経過や情報を伝え、ご利用者が適切な医療を受けられるように支援する	A	受診時には、ご利用者についての正確な情報を医療機関に伝えられるよう、生活記録等を提供して情報提供を行った	A	協力医療機関へ経過や情報を伝え、ご利用者が適切な医療を受けられるように支援する	A
		A	入院に関して、ご利用者やご家族、福祉事務所等と相談していますか。	A	入院の際には、ご利用者やご家族、福祉事務所等と相談し、療養や生活に関して、より良い選択ができるように支援する	A	入院の際には、ご利用者・ご家族に相談支援を行った また、入院中に、今後の療養や生活環境についてご家族と話し合う機会を設け、ご利用者・ご家族の意向を聞き取り、より良い選択ができるように支援した	A	入院の際には、ご利用者やご家族、福祉事務所等と相談し、療養や生活に関して、より良い選択ができるように支援する	A
	地域福祉	A	ボランティアや実習生の受入れや、育成を積極的に行っていますか。	A	ボランティアや実習生および就業体験を受け入れ、心に残る体験となるように、福祉車輛や車椅子の操作などを実際に体験する機会を設ける	A	14歳の挑戦、高校生インターンシップ、ボランティアや実習生、高校生の職場見学などを受け入れた際に、実際に、福祉車輛の操作や車椅子の移動介助を体験することができる機会を設けた	A	ボランティアや実習生および就業体験を受け入れ、心に残る体験となるように、福祉車輛や車椅子の操作などを実際に体験する機会を設ける	A
		A	ボランティアや実習生の受入れについては、担当者を置き、継続的・計画的な対応を行っていますか。	A	ボランティアや実習生および就業体験の受け入れ体制の充実を図り、継続的な関係づくりに努める	A	ボランティアや実習生の受け入れの際には、その都度、担当者を置き、継続的な関係づくりに努めた 実習後、納涼祭のときに担当者から連絡したところ、14歳の挑戦であんの里にきた中学生や、実習を終えた介護福祉士養成校の学生が納涼祭に参加してくれた	A	ボランティアや実習生および就業体験の受け入れ体制の充実を図り、継続的な関係づくりに努める	A
連 携	他機関・他施設との連携	A	地域住民やボランティアの方々に、施設行事に参加していただくよう、PRする また、ご家族と連絡を取り、ご利用者が地域行事に参加できるように支援する	A	地域住民やボランティアの方々に、施設行事に参加していただくよう、PRする また、ご家族と連絡を取り、ご利用者が地域行事に参加できるように支援する	A	地域住民やボランティアの方々に、施設行事に参加していただくよう、PRする また、ご家族と連絡を取り、ご利用者が地域行事に参加できるように支援する	A		
		A	市町村(サービス調整チーム)・保健所・福祉事務所等の機関との連携や協りに配慮していますか。	A	ご利用者の生活の質の向上、サービスの向上につながるよう、市や社会福祉協議会、各関係機関と連携を深める	A	ご利用者の生活の質の向上、サービスの向上に努め、市や社会福祉協議会、福祉事務所、成年後見人等と連携して、行政手続きなどを行い、ご利用者の生活を支援した	A	ご利用者の生活の質の向上、サービスの向上につながるよう、市や社会福祉協議会、各関係機関と連携を深める	A
携	広報活動	A	病院や診療所、在宅介護支援センターなどと連携し、ご利用者が必要な医療やサービスを受けることができるように支援する	A	必要な時には、病院や診療所、在宅介護支援センターなどの各機関と連携して、ご利用者への支援を行った	A	病院や診療所、在宅介護支援センターなどと連携し、ご利用者が必要な医療やサービスを受けることができるように支援する	A		
		A	広報誌を定期的に発行し、ご利用者・ご家族・地域住民・ボランティア等に配布していますか。	A	広報誌の紙面内容の充実を図る また、ご家族へ行事のPRチラシを送付する	A	広報誌の紙面内容の充実にも努め、毎月、ご家族・ボランティア・各関係機関等に広報誌を配布した お花見や納涼祭、敬老会など、行事のPRチラシもご家族へ送付し、参加を呼びかけた	A	行事だけでなく、法人の取り組みや職員研修、ケアの内容などを特集した記事を掲載するなど、広報誌の紙面内容の充実を図る	A
		A	広報誌発行以外に、他のサービス機関との連携の促進や、地域住民へのPRを行っていますか。	A	地域住民や他機関との関係を深め、広報活動を行う また、PRの良い機会となるシンポジウムや発表の機会があった時には、積極的に参加する	A	地区社協の見学や、映画のロケ地ツアーの見学など、多数の見学者を受け入れ、特別養護老人ホームの概要や施設の特色について、説明を行った	A	地域住民や他機関との関係を深め、広報活動を行う また、PRの良い機会となるシンポジウムや発表の機会があった時には、積極的に参加する	A

4 あんどの里デイサービスセンター

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優) C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
 B 全般によくできている(良) D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

あんどの里デイサービスセンター

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標		
サ ー ビ ス の 提 供 の 様 式	利用申込みから利用終了までの手続きに関する項目	A	ご利用者に対して、サービスの概要を利用申込み前に充分に知らせていますか	A	ご利用前に、サービスの概要をご家族、ご利用者に説明した	A	サービス開始前にサービスの概要を説明する	A		
		A	利用申込み手続きを簡便化する工夫を行っていますか	A	生活相談員が一括して手続きを行い、ケアマネジャーと連携し、手続きの簡便化を図る	A	生活相談員が一括して手続きを行い、手続きの簡便化を図る	A		
		A	利用申請から利用決定までの時間の短縮を行っていますか	A	ケアマネジャー・ご家族と連携を図り、1日体験利用→契約→利用開始までの時間短縮を図る	A	申し込みから早急にご利用していただけるよう、ご家族、ケアマネジャーと連携を図った	A	ケアマネジャー・ご家族と連携を図り、1日体験利用→契約→利用開始までの時間短縮を図る	A
		A	サービス利用の可否を決定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか	A	各種専門職の意見を参考に、サービス利用の可否を決定する	A	各専門職の意見を参考に、サービス利用の可否を決定した	A	各種専門職の意見を参考に、サービス利用の可否を決定する	A
		A	ご利用者の状況に応じて、利用回数・時間・期間等の調整を行っていますか	A	ご利用者の状況に応じて、利用回数・時間・期間の調整を行う	A	ご利用者の身体状況、ご家族の介護状況に変化があった際は、利用回数、時間・期間の調整を行った	A	ご利用者の状況に応じ、必要なサービスの提供(利用回数、時間、期間)の調整を行う	A
		A	利用待ちの方に対して訪問を行う等、定期的な連絡、状況把握を行っていますか	A	利用待ちの方には、ゲスト利用の提案や、定期的に連絡することで状況の把握を行う	A	利用待ちの方には、別の曜日の提案や、ゲスト利用の受け入れを行った	A	利用待ちの方には、ゲスト利用の提案や、定期的に連絡することで状況の把握を行う	A
		A	定期的または必要に応じて、個々のご利用者の利用の可否について見直しを行っていますか	A	ご利用者の身体状況や、ご家族の介護状況に変化があった際は、ケアマネジャーに報告し、適切なサービスを提案し、見直しを行う	A	ご利用者の身体状況や、ご家族の介護状況に変化があった際は、ケアマネジャーに報告し、適切なサービスを提案した	A	ご利用者の身体状況や、ご家族の介護状況に変化があった際は、ケアマネジャーに報告し、適切なサービスを提案し、見直しを行う	A
	個別援助計画に関する項目	A	個別援助計画を策定し、それに基づくサービス実施を行っていますか	A	個別援助計画を策定し、適宜見直しを行い、職員間で情報を共有し、ご利用者の状態に沿ったサービスを提供する	A	個別援助計画を策定し、ご利用者の状態に沿ったサービスを提供した	A	個別援助計画を策定、定期的な見直しを行い、それに基づくサービスを提供する	A
		A	個別援助計画を策定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか	A	ご利用者、ご家族の状況も含めて、必要に応じ各種専門職の意見を求め、個別援助計画を策定する	A	各専門職の意見を参考に、個別援助計画を策定した	A	各専門職の意見を聞き取り、個別援助計画の策定を行う	A
		B	個別援助計画策定に当たって、ご利用者、ご家族の参加と同意を得ていますか	B	個別援助計画を策定後、できるだけカンファレンスを開催しご利用者、ご家族に個別援助計画について説明、同意を得る	A	個別援助計画を策定後、ご利用者、ご家族に直接計画を説明し、同意を得た	A	個別援助計画を策定後は、早急にご利用者、ご家族とアポイントをとり、説明の同意を得る	A
A		援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じて個別援助計画の見直しを行っていますか	A	ご利用者の状況変化を細かくケアマネジャーに報告し、個別援助計画に反映されるように提言していく	A	ご利用者の状況変化がみられた際はケアマネジャーに報告し、個別援助計画の見直し、変更を行った	A	ご利用者、ご家族の状況も含めて正確に観察し、個別援助計画の見直し、変更を行う	A	
ご利用者・ご家族とのコミュニケーションに関する項目	A	定期的、または必要に応じて、ご利用者・ご家族との相談や意見収集の機会を持っていますか	A	カンファレンスや送迎時などに、相談受付や意見収集の機会を持ち、必要に応じて電話や面談での相談などを行う	A	送迎時などご利用者やご家族から相談を受け入れ必要に応じてケアマネジャー連絡や、サービス変更の提案を行った	A	カンファレンスや送迎時などに、相談受付や意見収集の機会を持ち、必要に応じて電話や面談での相談などを行う	A	
	A	ご家族との連携・コミュニケーションを確保するように努めていますか	A	ご家族に対し、カンファレンスや送迎の際、困ったことがないか、こちらの方から声を掛け、相談しやすいように働きかける	A	カンファレンスや送迎時を利用し、現在提供しているサービスのことや相談などを伺い、コミュニケーションを確保した	A	送迎時や、連絡帳を利用し、積極的にご家族とコミュニケーションを図る	A	
	A	ご家族への介護技術指導を定期的、または必要に応じて行っていますか	A	ご家族からの相談があった時や、ご利用者の状態に応じて、随時介護技術指導を行う	A	介護の相談があった際は、直接自宅へ向かい介護技術指導を行った。また、連絡帳も使いながら、相談に応じた	A	ご家族から相談があった際は、なるべく直接出向き、介護技術指導を行う	A	
ご利用者の記録に関する項目	A	ご利用者に関する情報を適切に記録していますか	A	ご利用者の状態の変化や、それに伴うサービス内容の変更など、ご利用者に関する情報を、第三者が見てもわかりやすいよう、記録する	A	ご利用者の状態の変化や、それに伴うサービス内容の変更など、ご利用者に関する情報を、第三者が見てもわかりやすいよう、記録した	A	ご利用者の状態の変化や、それに伴うサービス内容の変更など、ご利用者に関する情報を、第三者が見てもわかりやすいよう、記録する	A	
ご利用者のプライバシーに関する項目	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に適切な配慮を行っていますか	A	個人情報の管理を徹底し、ご利用者の人権やプライバシー保護に努める	A	カルテや個人情報に関する物は、流失しないよう徹底して管理を行った	A	個人情報の管理を徹底し、ご利用者の人権やプライバシー保護に努める	A	
サ ー ビ ス の 提 供 体 制 に 関 す る 項 目	職員の配置体制に関する項目	A	個々のサービスの提供に関して、定期的、または随時に指導・助言が行われる体制が取られていますか	A	ケアマネジャーとの連携や介護相談員からの助言・指導を、下に、より良いサービスができるよう対応する	A	生活相談員が、ケアマネジャーを中心とした各種専門職と連携を図り、助言・指導が行われる体制を取り、職員間で情報共有し、より良いサービスができるよう対応した	A	生活相談員が、ケアマネジャーを中心とした各種専門職と連携を図り、助言・指導が行われる体制を取り、より良いサービスができるよう対応する	A
		A	ご利用者の送迎を効率的に行っていますか	A	ご利用者の状態や要望に合わせ、安全に配慮しながら、効率よく送迎を行う	A	ご利用者の状態や要望に合わせ、安全に配慮しながら効率よく送迎を行った	A	ご利用者の状態や要望に合わせ、安全に配慮しながら、効率よく送迎を行う	A
	サービスの質の確保に関する項目	A	サービスに関するマニュアル等を利用し、職員に徹底していますか	A	適宜サービスに関するマニュアルの見直しを行う変更の際には、職員連絡帳を通し、伝達・周知徹底を図り、必要に応じて、一覧表などを作成する	A	適宜サービスに関するマニュアルの見直しを行い、ミーティングや職員連絡帳を通し、伝達・周知徹底を図った。また、必要に応じて一覧表なども作成し、職員間で徹底できるよう努めた	A	適宜サービスに関するマニュアルの見直しを行う変更の際には、職員連絡帳や事務所内の連絡用ボードを通し、伝達・周知徹底を図り、必要に応じて、一覧表などを作成する	A
		A	定期的、または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか	A	定期的、または必要に応じてカンファレンスを実施し、ご利用者に適したサービスを提供する	A	定期的、または必要に応じてカンファレンスを実施し、ご利用者に適したサービスを提供している	A	定期的、または必要に応じてカンファレンスを実施し、より良いサービスを提供する	A
A	職員・ご利用者・ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制が取られていますか	A	定期的な業務改善委員会の開催や、職員からの提案・要望を話し合い、業務改善に努める	A	職員・ご利用者・ご家族からの提案・要望があれば、随時話し合いの機会を持ち、早急に業務改善に努めた	A	職員・ご利用者・ご家族からの業務改善に関する提案があれば、必要時はケアマネジャーと連携を図り、随時話し合いの機会を持ち、できるだけ要望に添えるよう早急に業務改善を行う	A		

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
② サービス提供体制について	他機関との連携に関する項目	A	ご利用中に、医師の判断が必要な際は、かかりつけ医と連絡を行う また、新規契約の際に、必ずかかりつけ医の確認を行う	A	新規契約の際に、必ずかかりつけ医の確認を行い連携を確保している ご利用中に医師の判断が必要な際は、かかりつけ医の指示を仰ぎ対応した	A	新規契約の際に、必ずかかりつけ医の確認を行い連携を確保する ご利用中に医師の判断が必要な際は、かかりつけ医の指示を仰ぎ対応する	A	
	衛生管理に関する項目	A	感染対応が必要になった際は、感染予防委員会が中心となり、早急に対策を講じる また、感染症の流行時期前に、感染物品を整理し、対応の確認を行う	A	感染症の流行時期前に感染物品を整理し、直ぐに対処できるように準備をした 感染対応が必要になった際は、感染予防委員会が中心となり、早急に対策を講じた	A	ご利用者、ご家族にも予防を伝え協力を得る 送迎時に、ご利用者の体調を伺い不安な場合は看護師に確認することを徹底する 来所後体調を崩された場合(感染の疑いがある場合)は、他のご利用者との接触に注意し、早めの受診を働きかける	A	
③ 地域全体へのサービス提供に関する項目	広報・情報提供に関する項目	A	地域住民の方々と交流を図ることができるよう、良好な関係作りに努める また、季節の行事に参加する外出レクリエーションを企画する	A	青島保育園の園児を招いての餅つき会や、魚津東部中学校の生徒によるお茶会の開催など、地域の方々との交流を楽しむことができた	A	地域の方との交流が多く持てるよう柔軟に対応し、良好な関係作りに努める また、季節の行事に参加する外出レクリエーションを企画する	A	
	ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか	A	ボランティアの方や、地域住民の方が参加できるような行事やレクリエーションを企画・実施する	A	定期的な整容の介助や、午後のレクリエーション活動の指導、夏祭りのお手伝いなど、施設行事に参加していただいた	A	ボランティアの方や、地域住民の方が参加できるような行事やレクリエーションを企画・実施する また、できるだけボランティアの方の要望にあった内容を企画する	A	
④ サービス内容	個々のサービスに関する項目	食事をおいしく食べられる雰囲気作りを行っていますか	A	ご利用者の身体状況や、好みに合うような食事を提供する また、管理栄養士と連携し、季節を感じられるような行事食を実施する	A	ご利用者の食事される様子を観察し、内容などに変更が必要と思われた際には、職員間で検討し、ご本人、ご家族様、ケアマネジャーに確認の上、適切な食事内容、形態で対応した また、施設の農園で収穫した野菜を使用したり、季節感を味わえるような手作りおやつを提供した	A	ご利用者の身体状況や、好みに合うような食事を提供する 管理栄養士と連携し、季節を感じられるような行事食、おやつを提供を実施する	A
		食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか	A	配膳時の物品の消毒、食前の手洗いの励行など、感染予防を徹底する	A	食事前の手洗い、食後の口腔ケア、手作りおやつや喫茶等で使用する食器の消毒、配膳時のマスクと手袋着用等を徹底し、ご利用者、職員ともに感染予防に努めた	A	配膳時の物品の消毒、食前の手洗いの励行など、感染予防を徹底する	A
		心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか	A	ご利用者が安心して、安全に排泄できるよう、カンファレンス時に排泄介助について検討する	A	カンファレンス時の確認事項を周知徹底し、ご利用者が安全、安心して排泄できるよう介助した 状態等に変化が見られた際は、その都度検討し、対応した	A	ご利用者が安心して、安全に排泄できるよう、カンファレンス時に排泄介助について検討し、実行する	A
		ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか	A	ご利用者の意向を尊重し、自尊心を傷つけないような排泄介助を行う 排泄介助マニュアルを作り、職員の意識統一を図る	A	ご利用者の気持ちに配慮し、自尊心を傷つけないよう配慮した排泄介助を実行した	A	ご利用者の意向を尊重し、自尊心を傷つけないような排泄介助を行う 排泄介助マニュアルを作り、職員の意識統一を図る	A
		認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか	A	認知症ケアに関する研修に積極的に参加し、認知症の理解、介助方法のスキルアップを図る また、研修内容を現場に活かし、職員全員のスキルを一定の水準に保つよう施設内研修を行う	A	認知症ケアに関する研修を職員1名が受講し、その内容を他の職員に報告、伝達して、業務に活かすことができた	A	認知症ケアに関する研修に積極的に参加し、認知症の理解、介助方法のスキルアップを図る また、研修内容を現場に活かし、職員全員のスキルを一定の水準に保つよう施設内研修を行う	A
		認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか	A	日頃からご利用者の行動、心理状態を観察し、職員全員が適切に対応できるように分析する 適切なケア方法を職員に周知し、ケアの統一を図る	A	朝夕の2回ミーティングを行い、その日のご利用者の状態、変化を報告、確認しあい、対応を検討した 職員全員が適切な介助を統一して行えるよう記録をとり、周知徹底した	A	日頃からご利用者の行動、心理状態を観察し、職員全員が適切に対応できるように分析する 適切なケア方法を職員に周知し、ケアの統一を図る	A
		身体的・精神的能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか	A	ご利用者の身体的及び精神的能力を把握し、ご利用者のご家族の希望に沿えるようなレクリエーションを企画し、実行する	A	ご利用者の身体的、精神的能力を把握し、無理なく、安全に楽しんでいただける内容のレクリエーションを企画し、実行した 個別の要望にも対応するべく、フラワーアレンジメント、個別ドライブ等を企画し、より満足していただけるよう心がけ、実行した	A	ご利用者の身体的及び精神的能力を把握し、ご利用者のご家族の希望に沿えるようなレクリエーションを企画し、実行する	A
		ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか	A	ご利用者のご希望、ご家族の意見をできるだけ取り入れたレクリエーションを企画し、実行する	A	ご利用者の要望を取り入れ、参加しやすいレクリエーションを企画し、実行した	A	ご利用者のご希望、ご家族の意見をできるだけ取り入れたレクリエーションを企画し、実行する	A
⑤ サービス内容評価	各サービスに共通な項目	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んでいただけるよう配慮していますか	A	通所介護計画書を基に、ご利用者の残存能力を維持できるよう支援する	A	ご利用者の状態を把握し、通所介護計画書を基本にして、状態に合わせた介護を行った	A	通所介護計画書を基に、ご利用者の残存能力を維持できるよう支援する	A
		ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか	A	ご利用者の状態を観察、把握し、理学療法士やケアマネジャーと共に、その時の状態に合った福祉用具を選定し、安心安全に日常生活を送っていただく	A	ご利用者の状態を観察し、変化が見られた場合は、理学療法士、ケアマネジャーに連絡相談し、状態に応じた福祉用具を検討、選定し、ご利用者、ご家族に提案した	A	ご利用者の状態を観察、把握し、理学療法士やケアマネジャーと共に、その時の状態に合った福祉用具を選定し、安心安全に日常生活を送っていただく	A
		ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか	A	接遇に対する職員の意識向上を図るため、定期的なミーティングを行う	A	朝の送迎前に、職員全員でご利用者、ご家族に接する際の心構えを唱和し、意識の向上を図った	A	接遇に対する職員の意識向上を図るため、必要に応じて随時ミーティングを行う	A
		サービスの提供に当たって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか	A	カンファレンス時に、サービスに対する希望や意見をご利用者のご家族に確認し、できるだけサービスに反映していく	A	カンファレンス時以外でも、ご利用者、ご家族との会話時に要望、意見の収集に努め、サービスに反映した	A	カンファレンス時に、サービスに対する希望や意見をご利用者のご家族に確認し、できる限りサービスに反映し、実行する	A
	サービス提供の事前事後に関する項目	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか	A	サービス提供前の準備確認を、確実に実行	A	サービス提供前に、準備確認を行った	A	サービス提供前の準備確認を、確実に実行	A
		サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか	A	サービス提供後の報告、事後処理を確実に実行	A	サービス提供後に、報告、事後処理を行った	A	サービス提供後の報告、事後処理を確実に実行	A

5 障害者支援施設ひゞき

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる (優 C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある (可)
 B 全般的によくできている (良) D 重要な事項又は多くの項目において未達成である (不可)

障害者支援施設施設ひゞき

評価項目		H28年度評価	H29年度目標と予算要求	H29年度目標	H29年度実施状況	H29年度評価	H30年度目標と予算要求	H30年度目標	
①	食 事	食事をおいしく、楽しく食べるための食堂の雰囲気作りを行っていますか。	A	ご利用者が、共通の話題について会話をしながら、楽しく食事できるような雰囲気を作る	A	ご利用者が楽しく共通の話題について会話をしながら、楽しく食事できるような雰囲気作りを努めた	A	ご利用者が、楽しく会話をしながら、食事できるような雰囲気作りを努める	A
		食事の選択が可能になっていますか。	A	ご利用者がご希望のメニューを選択できるよう、年2回の嗜好アンケートを実施する	A	年2回、ご利用者が嗜好アンケートを実施し、ご希望のメニューを提供した	A	ご利用者がご希望のメニューを選択できるよう、年2回の嗜好アンケートを実施する	A
		温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供されていますか。	A	延長は2時間を厳守し、召し上がる直前まで冷蔵庫で保管、適温にして提供する	A	延長2時間を厳守し、召し上がる直前まで冷蔵庫で保管し、適温にして提供した	A	延長は2時間を厳守し、召し上がる直前まで冷蔵庫で保管、適温にして提供する	A
		食事介助は、ご利用者のペースに合わせていますか。	A	ご利用者の身体状況を把握し、安全に咀嚼・嚥下できているか確認しながら食事介助を行う	A	身体状況を把握し、その日の体調に合わせた食事、誤嚥に注意し介助を行った	A	ご利用者のその日の身体状況を把握し、安全に咀嚼・嚥下できているか確認しながら食事介助を行う	A
		健康上の必要から食事に配慮が必要なご利用者に対して、適切な食事が提供されていますか。	A	ご利用者の体調に変化がないか随時確認し、多職種と連携のもと、適切な栄養管理に努める	A	看護職員・管理栄養士・理学療法士・生活支援員が連携し、栄養管理に努め、お一人おひとりの状態に適した食事を提供した	A	ご利用者の体調に変化がないか看護師・管理栄養士と確認し、多職種と連携のもと、適切な栄養管理に努める	A
生 活	入 浴	身体状況により入浴ができない場合は、清拭対応が行えていますか。	A	外出や体調不良等で入浴できなかった場合は、清拭を行う	A	外出や体調不良等で入浴できなかった場合は、ご利用者の希望に合わせて入浴日の変更、清拭を行った	A	外出や体調不良等で入浴できなかった場合は、清拭を行う	A
		身体状況に応じた入浴方法(形態)をとっていますか。	A	ご利用者の身体状況に変化があった場合は、理学療法士・看護師と相談し、状態に応じた入浴方法で介助する	A	ご利用者の身体状況を確認しながら、理学療法士・看護師と相談し、状態に応じた入浴方法で介助を実施した	A	ご利用者の身体状況と要望を確認しながら、理学療法士・看護師と相談し、状態に応じた入浴方法で介助する	A
		入浴時、裸体を他の人(介助者は除く)に見せない工夫をとっていますか。	A	肌が他者(介助者を除く)の目に触れないよう、プライバシーの確保に努める	A	ご利用者のプライバシーを守り、肌が他者(介助者を除く)の目に触れないよう配慮し、パーテーション等を使用した	A	肌が他者(介助者を除く)の目に触れないよう、プライバシーの確保に努める	A
活 助	排 泄	オムツカバー・便器等の種類がご利用者に適したものを使用するよう配慮されていますか。	A	ご利用者の身体状況、排泄パターンを全職員が周知し、身体状況に合わせて排泄介助を実施する	A	ご利用者の身体状況に合った福祉用具を作製、使用し、排泄介助を行った。また、必要に応じて尿量チェックをしながらお一人おひとりの排泄パターンを把握し、適切な排泄用品の使用、パッド類の変更を行った	A	ご利用者の身体状況、排泄パターンを全職員が周知し、福祉用具を設置するなど、身体状況に合わせて排泄介助を実施する	A
		寝たきり防止、寝食分離。	A	終日ベッド上で過ごされることがないように、日中はその方に合った離床時間と余暇時間を確保し、ご利用者同士の交流を深める支援をする	A	食事は全員フロアで召し上がっていただき、体調不良者以外は終日ベッドで過ごされる事がなく、その方に合った離床時間と余暇時間を提供した	A	ご利用者同士の交流を深めるため、全員で食事を召し上がっていただく。また、その方に合った離床時間と余暇時間を確保する	A
サ 助	寝たきり	日中は寝巻きから日常着に着替えるようにしていますか。	A	ご要望のあるご利用者には着替えの介助をする	A	ご要望のあるご利用者には、寝巻きと日常着の着替えの介助をした	A	ご要望のあるご利用者には寝巻きから日常着に更衣する	A
		日常生活動作の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけ自分で取り組んでいただけるように配慮していますか。	A	多職種と連携し、ご利用者の身体状況に応じた自立支援をする	A	看護師・理学療法士・生活支援員が連携し、できることは自分で行っていただき、身体機能低下の予防に努めた	A	多職種と連携し、ご利用者の身体状況に応じた自立支援をする	A
サ 助	自立援助	ご利用者の障害の形態により、自立生活のための自助具や補装具などが準備されていますか。	A	理学療法士と連携を図り、ご利用者の身体状況に適した福祉用具を検討する	A	理学療法士と生活支援員が連携し、ご利用者の身体状況に適した福祉用具を検討し、取り入れた	A	理学療法士と連携し、ご利用者の身体状況に適した福祉用具を検討・使用する	A
		一人ですることが困難なご利用者に対して、希望を聞き、計画的に外出の機会を確保していますか。	A	事前に、ご利用者に外出先の希望を伺い、年1~2回の外出を計画的に実施する。また、移動支援や同行ヘルパーの手続き・手配等を支援する	A	「よっしやこい!! CHOUROKU」や、魚津神社祭礼、ドライブなどを計画的に実施した。また、個人で外出を希望される方には、ヘルパー契約及びタクシーの手配を行った	A	事前に、ご利用者に外出先の希望を伺い、年1~2回の外出を計画的に実施する。また、移動支援や同行ヘルパーの手続き・手配等を支援する	A
サ 助	会 話	ご利用者への言葉遣いに特に注意し、その為の検討が行われていますか。	A	ご利用者にアンケート調査を行い、ミーティングや業務改善委員会で話し合い、職員の言葉遣いについて確認する。また、できていない職員には主任が個別指導を行う	A	ご利用者の意見をもとに、職員に対しミーティングや申し送り等で指導し、なおもできていない職員には主任が個別指導を行った	B	月に1回ご利用者と意見交換会を行い、ミーティングや業務改善委員会で話し合い、職員の言葉遣いについて確認する。また、できていない職員には主任が個別指導を行う	A
		日常会話が不足しているご利用者に対して、言葉掛けと、相手の話に耳を傾けるように配慮していますか。	A	居室で過ごされる時間が長いご利用者には、居室へ個別コミュニケーションを図ったり、ご利用者同士の交流の場を設ける	A	居室やフロアでコミュニケーションを図るよう努めたが、忙しい時は最後までゆっくり話を聞いてあげられない時があった	B	ご利用者に応じた離床時間を確保し、フロアでコミュニケーションを図り、職員やご利用者同士の交流の場を設ける	A
ス 助	レクリエーション	レクリエーション等のプログラムは、ご利用者が積極的に参加されやすいような計画、実施がなされていますか。	A	新しいレクリエーションを取り入れるなど、工夫を凝らし、ご利用者の身体状況に応じたレクリエーションを計画・実行する	A	レクリエーションや、川柳の会、書の教室を定期的に計画し、開催した	A	新しいレクリエーションを取り入れるなど、工夫を凝らし、ご利用者の身体状況に応じたレクリエーションを計画・実行する	A
		レクリエーション活動(クラブ活動)は、趣味・娯楽などを活かした小グループで行われ、ご利用者が自由に選択できる多彩なメニューを揃えていますか。	A	ご利用者の身体状況に合わせたメニューを多彩に企画し、興味のあるものに参加を促す	A	行事委員会で、ご利用者のニーズに合わせたレクリエーションを企画し、活動内容に合わせ一人ひとりに参加の声掛けを行った	A	ご利用者の身体状況に合わせたメニューを多彩に企画し、興味のあるものに参加を促す	A

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
① 日常生活 援助サ ービス	認知症 ご利用者	認知症ご利用者の方に対しての生活上の配慮・プログラムが計画されていますか。	A 高齢者事業所の研修報告を参考に、認知症に対応できるよう努める	A	認知症のご利用者はいないが、看護師と連携し、高次脳機能障害に対応できるよう努めた	A	高齢者事業所の研修報告を参考に、認知症に対応できるよう努める	A
		認知症ご利用者の方に対しては、夜間安眠できるように、日中できるだけ活動的な生活を援助していますか。	A ご利用者に規則正しい生活を送っていただけるよう、日中活動への参加を促し、コミュニケーションをとる機会を設ける	A	認知症のご利用者はいないが、昼夜逆転傾向の方に、規則正しい生活を送っていただけるよう、日中掛けたり、活動への参加を促した	A	ご利用者に規則正しい生活を送っていただけるよう、日中活動への参加を促し、コミュニケーションをとる機会を設ける	A
		認知症ご利用者の方が安心して生活できるよう環境が整備されていますか。	A ご利用者が安心して生活できるよう、安全な環境整備に努める	A	認知症のご利用者はいないが、安全で安心して生活できるよう、環境整備に努めた	A	ご利用者が安心して生活できるよう、安全な環境整備に努める	A
ご利用者の自由選 択	テレビ・新聞・雑誌・図書等が自由に利用できますか。	A テレビは見やすい場所に設置し、新聞・雑誌等は最新のものに入れ替える	A	テレビやDVDプレーヤーを全員が見やすい場所に設置し、ご利用者の好みに応じて設定した また、新聞・雑誌等は最新のものを提供した	A	テレビやDVDプレーヤーはご利用者の好みに応じて設置し、新聞・雑誌等は最新のものを設置する	A	
	外部と自由に通信(電話・ファクシミリ・手紙等)することができますか	B ご利用者が必要とする通信手段の要望に、できる限り対応する ご自身でできない利用者には、職員が代行、またはご家族に依頼する	A	インターネットや電話など、外部との通信体制は整っており、ご自身でできない利用者には職員が代行、ご家族に依頼した	A	ご利用者が必要とする通信手段の要望に、できる限り対応する ご自身でできない利用者には、職員が代行、またはご家族に依頼する	A	
② 専門的 サ ービス	看護・介護	常に転倒防止に心がけていますか。	A ご利用者が安心して生活できるよう環境整備、設備点検を行い、事故防止に努める	A	ご利用者の身体状況や生活動作を把握し、環境整備に努めている	A	ご利用者の身体状況、日常動作を把握し、環境整備、設備点検を行い、事故防止に努める	A
		骨折や誤飲等の緊急事故が発生した場合の対応を、日頃から訓練していますか。	A 月1回以上、緊急時を想定した訓練を職員個別に行う	A	マニュアルの見直しを定期的に行った また、看護職員による緊急時対応に関する勉強会やデモンストレーションを行った	A	月1回以上、緊急時を想定した訓練や勉強会、デモンストレーションを行う	A
		感染症(かいせん・MRSA等)に対する対策は検討されていますか。	A 感染症が発症した場合、迅速に対応できるよう勉強会を開催する	A	手洗い・汚物処理研修に参加した また、看護職員や感染予防委員会を中心に、マニュアルの周知徹底、伝達講習を行った	A	感染症が発症した場合、迅速に対応できるよう勉強会を開催する	A
	リハビリテーション	リハビリテーション活動が訓練室のプログラムに終わるのではなく、ご利用者の生活の場においても「生活のリハビリテーション」として実際に役立つように指導していますか。	A ご利用者の身体状況の変化、職員の身体への負担を考慮しながら、適切な福祉用具の選定及び介助方法の統一を図ることで、乗換時の介助事故を防ぎ、職員の腰痛予防に努める	A	ご利用者の身体状況の変化に合わせ、随時乗換介助方法や福祉用具の使用方法について指導を行った	A	ご利用者の身体状況の変化、職員の身体への負担を考慮しながら、適切な福祉用具の選定及び介助方法の統一を図ることで、乗換時の介助事故を防ぎ、職員の腰痛予防に努める	A
	ケースごとにリハビリテーションの立案(評価・目標設定・実施計画)をし、定期的にケース会議を行い計画の見直しを行っていますか。	A 年2回のカンファレンスのほか、身体状況の変化に応じ、必要な場合は計画の見直し・変更を行う	A	ご利用者の身体状況の変化に合わせ、適宜、計画や訓練内容を変更し、対応した	A	年2回のカンファレンスのほか、身体状況の変化に応じ、必要な場合は計画の見直し・変更を行う	A	
③ その 他 の サ ー ビ ス の 項 目	入退所に 関する 項目	施設概要のパンフレットが準備され、入所前の施設見学は自由にできますか。	A 施設概要のパンフレットを正面受付に設置する 入所の希望があった場合は、サービス管理責任者が、施設内容をよく理解していただけるよう丁寧に説明・対応する	A	見学者にはパンフレットをお渡しし、施設内を行った 入所の希望があった場合は、施設概要についてわかりやすく説明するよう努めた	A	施設概要のパンフレットを正面受付に設置する 入所の希望があった場合は、サービス管理責任者が、施設内容をよく理解していただけるよう丁寧に説明・対応する	A
		入所にあたり、①施設の利用法 ②ご利用者や職員の状況 ③サービスの内容等生活上必要な事柄について、必ず説明していますか。	A 重要項目説明書に基づき、施設の利用方法やサービス内容、ご利用者の状況や職員の配置状況等についての正確な情報提供、分かりやすい説明を行うとともに、必要となる生活費などの支払い方法についても丁寧に説明する	A	施設の利用について、概要やサービス内容、最新の料金表を提示し、分かりやすく説明を行った	A	重要項目説明書に基づき、施設の利用方法やサービス内容、ご利用者の状況や職員の配置状況等についての正確な情報提供、分かりやすい説明を行うとともに、必要となる生活費などの支払い方法についても丁寧に説明する	A
		入所にあたり、ご利用者の状態などの説明をご利用者・ご家族にわかりやすく行い、同意を得ていますか。	A ご利用者の状態などを、ご本人・ご家族にご理解いただけるよう、サービス管理責任者が丁寧に説明する	A	サービス内容を丁寧に説明し、理解と同意を得られるよう努めた	A	ご利用者の状態などを、ご本人・ご家族にご理解いただけるよう、サービス管理責任者が丁寧に説明する	A
		退所にあたり、その退所先へのご利用者の状態に関する情報提供は、適切に行われていますか。	A 退所先へ適切に情報を提供できるよう、日頃から細やかな状態観察を行い、退所時には、ご利用者の日常生活の様子を詳しく伝える	A	ショートステイの退所時には、各関係機関に対し、ご利用者の状態についての連絡を密に行った	A	退所先へ適切に情報を提供できるよう、日頃から細やかな状態観察を行い、退所時には、ご利用者の日常生活の様子を詳しく伝える	A
④ 地 域 福 祉 の 連 携	協力 医療機関	内科・外科・精神科・歯科等、協力医療機関と十分な連携が取れ、必要な時に適切な措置を講じるようにしていますか。	A 協力医療機関と連携をとり、必要な時に、適切な情報提供を行う	A	協力医療機関と密接に連携し、必要な時に診療を受けられるように支援した	A	協力医療機関と連携をとり、必要な時に、適切な情報提供を行う	A
		入院に関して、ご利用者やご家族、福祉事務所等と相談していますか。	A 入院に関して、ご利用者やご家族、嘱託医などと相談し、連携を図る	A	ご利用者の入院の際は、ご本人やご家族、嘱託医などと連携し、相談した	A	入院に関して、ご利用者やご家族、嘱託医などと相談し、連携を図る	A
	地域福祉	ボランティアや実習生の受け入れや、育成を積極的に行っていますか。	A 実習生の受け入れ時に、ひびき年間行事を説明し、ボランティアとしても来ていただけるよう依頼する	A	14歳の挑戦や高校生ボランティア、実習生等を受け入れ、マニュアルの作成、指導を行った	A	実習生の受け入れ時に、ひびきの年間行事を説明し、ボランティアとしても来ていただけるよう依頼する	A
		ボランティアや実習生の受け入れについては、担当者置き、継続的・計画的な対応を行っていますか。	A ボランティアに関しては、事前に日程調整・打ち合わせを行い、継続的な関係作りを努める	A	指導者が日程調整、事前計画、マニュアルを作成し、ボランティア、実習生の受け入れ体制を整えた	A	ボランティアに関しては、事前に日程調整・打ち合わせを行い、継続的な関係作りを努める	A
施設	施設の行事に地域住民が参加したり、周辺地域の行事にご利用者が参加するといった地域との交流がありますか。	A ご利用者のご希望に沿った地域のイベントなどを紹介し、参加できる機会を設ける	A	ご利用者が、地域との交流を深められるよう、「よっしゃこい!! CHOUROKUJ」等の行事に参加した	A	ご利用者のご希望に沿った地域のイベントなどを紹介し、参加できる機会を設ける	A	
他機関・他施設との 連携	市町村(サービス調整チーム)・厚生センター・社会福祉事務所等の機関との連携が協力に配慮していますか。	A 市町村をはじめとする他の機関と連携し、情報交換に努める	A	ご利用者の生活に必要なことについて、関係機関との連携を図った	A	市町村をはじめとする他の機関と連携し、情報交換に努める	A	
	必要な場合には、病院・診療所、障害者自立支援センター等、各施設との連携が取れていますか。	A 他事業所のサービス調整会議等に参加し、他施設・事業所との連携に努める	A	入所・ショートステイ・生活介護の申し込みの際に、他の事業所・医療機関と連携をとり、計画相談を密に行った	A	他事業所のサービス調整会議等に参加し、他施設・事業所との連携に努める	A	
携 帯	広報活動	広報誌を定期的に発行し、ご利用者・ご家族・地域住民・ボランティア等に配布していますか。	A 毎月、ひびきだよりを発行し、ご家族・ボランティア・各関係機関等へ配布する	A	毎月、ひびきだよりを発行し、ご利用者の日頃の様子を掲載し、ご家族・地域住民・ボランティア等に配布した	A	毎月、ひびきだよりを発行し、ご家族・ボランティア・各関係機関等へ配布する	A
		広報誌発行以外に、他のサービス機関との連携の促進や、地域住民へのPRを行っていますか。	A 地域住民や学校関係者の視察の際には、サービスや利用料についてわかりやすく説明し施設のアピールを行う	A	計画相談員が勉強会に参加し、ひびきに興味を持っていただけるようPRを行った	A	地域住民や学校関係者の視察の際には、サービスや利用料についてわかりやすく説明し施設のアピールを行う	A

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
⑤ 施設 設備 ・ 環境	施設設備	施設全体の雰囲気は、ご利用者の快適性に配慮していますか。	A ユニットの特性を活かし、お一人おひとりに合わせた家庭的な雰囲気作りにも努める	A	お一人おひとりに合わせた支援内容を計画し、過ごしやすい雰囲気作りや環境整備に努めた	A	ユニットの特性を活かし、お一人おひとりに合わせた家庭的な雰囲気作りにも努める	A
		自助具や車椅子を使用することを前提に、施設整備の配慮がなされていますか。	A 理学療法士を中心に、ご利用者の身体状況に応じて、用具・器具を検討し、福祉事業者に速やかに申請等を行い準備する	A	理学療法士と相談し、ご利用者の身体状況に合わせ、必要な福祉用具を揃えたり、手作りし、提供した	A	理学療法士を中心に、ご利用者の身体状況に応じて、用具・器具を検討し、福祉事業者に速やかに申請等を行い準備する	A
		ご利用者がくつろげるデイルームや談話室がありますか。	A 各ユニット内のフロアでくつろげる雰囲気づくりに努める	A	各フロアの環境整備に努め、ご利用者が落ち着いた生活を送る雰囲気作りを行った	A	毎日の環境整備に努め、各ユニット内のフロアでくつろげる雰囲気づくりに努める	A
		車椅子・杖・歩行器・自助具等、ご利用者が自立のために必要な設備・器具を利用できるよう配慮していますか。	A 理学療法士と連携し、ご利用者に適切な設備・器具を活用できるように努める また、破損・修繕が必要な場合は迅速に対応する	A	理学療法士と連携し、ご利用者の身体状況に合わせて必要な設備・器具を利用したり、お試し品をレンタルするなどし、配慮した	A	理学療法士と連携し、ご利用者に適切な設備・器具を活用できるように努める また、破損・修繕が必要な場合は迅速に対応する	A
		私物収納スペースは充分確保されていますか。	A 収納スペースに、ご利用者・ご家族と相談し、季節毎の物品・衣類等の入れ替えを適宜行う	A	全個室で十分なスペースがあり、居室担当者が中心となって、季節毎に居室の環境整備・整理整頓を行った	A	収納スペースに、ご利用者・ご家族と相談し、季節毎の物品・衣類等の入れ替えを適宜行う	A
		各ベッド及びトイレや浴室のナースコールは円滑に作動していますか。	A ベッド及びトイレや浴室のナースコールが正常に作動するよう管理・点検する	A	ベッド及びトイレや浴室のナースコールが安全に作動するように確認を行い、不都合があった際はすぐ修理し代替えを用意してもらった また、身体状況に合わせたナースコールを設置した	A	ベッド及びトイレや浴室のナースコールが正常に作動するよう管理・点検する	A
		ご家族が宿泊したり、利用できる部屋がありますか。	A ご家族が宿泊を希望された時は、宿泊用設備・備品を整え、食事の提供や寝具についての説明を行う	A	ご家族の宿泊用設備・備品を揃えており、希望があった際は食事・寝具についての説明、お試してショートご利用者のご家族同伴も受け入れた	A	ご家族が宿泊を希望された際は、宿泊用設備・備品を整え、食事の提供や寝具についての説明を行う	A
⑤ 施設 環境 整備	施設内 環境整備	施設は清潔ですか。	A 常に衛生管理に努める	A	常に施設内の環境整備・整理整頓に努めた	A	常に衛生管理・環境整備に努める	A
		施設に異臭はありませんか。	A 常に施設内の換気・消臭に努める	A	出入り口、トイレや居室前、フロアに消臭剤を設置し、常に施設内の換気・消臭に努めた	A	常に施設内の換気・消臭に努める	A
		事故防止のために、常に床や段差、照明などの環境の安全に気を配っていますか。	A 定期的に環境整備や備品類を点検し、安全に配慮する	A	常に安全面に気を配り、環境整備・整理整頓に努めた	A	定期的に環境整備や備品類を点検し、安全に配慮する	A
⑥ 運 営 管 理	職員への 教育研修	施設の趣旨及び運営理念を職員に徹底させていますか。	A 法人の理念や使命について理解し、常に意識するよう職員へ周知する また、できていない職員には主任が個別指導を行う	A	ミーティングや研修の際に、職員へ周知した また、できていない職員には個別で確認を行った	A	法人の理念や使命について理解し、常に意識するよう職員へ周知する また、できていない職員には主任が個別指導を行う	A
		体位交換、起立、移動や車椅子操作をはじめ、福祉機器など基本的日常生活における動作介助技術の訓練を職員に行っていますか。	A 定期的に勉強会を実施し、介助技術の向上を目指し、統一した介助を行う	A	理学療法士による、介助技術に関する勉強会（新人研修）や定期的に勉強会を実施し、介護技術の向上を目的とした指導を受け、統一した介助を行った	A	定期的に勉強会を実施し、介助技術の向上を目指し、統一した介助を行う	A
		新任職員のための系統的なプログラムがありますか。	A 定期的に業務マニュアル・個別対応マニュアル・業務分担当表を見直し、指導担当職員は固定化するとともに、指導者は指導日誌を活用しながら、育成状況について職員全員が把握できる	A	定期的に業務マニュアル・業務分担当表・業務分担当表の見直し、変更・修正を行った また、新人職員に対して個別マニュアルや個別工程表の作成も行ったが、面談がなかなか実施できなかった	B	定期的に業務マニュアル・個別対応マニュアル・業務分担当表を見直し、指導担当職員は固定化するとともに、指導者は指導日誌を活用しながら、育成状況について職員全員が把握する	A
		職員研修や勉強会が企画されていますか。	A 研修に参加した職員は、学んだ技術や新たに気付いたことを伝達研修で職員へ周知する	A	研修に参加した職員が、学んだ技術や他事業所との交流の中で得た知識を職員に伝達した	A	研修に参加した職員は、学んだ技術や新たに気付いたことを伝達研修で職員へ周知する	A
		施設外の研修が企画され、計画的に行われていますか。	A 研修の年間計画に沿って、受講対象者を決定する また、ひびきの職員として受講してほしい内容の研修の案内があれば、積極的に受講を促す	A	研修受講の年間計画に基づき、外部研修に参加した また、新規の研修については、職務内容や経験年数を考慮し、ふさわしい職員に受講させた	A	研修の年間計画に沿って、受講対象者を決定する また、ひびきの職員として受講してほしい内容の研修の案内があれば、積極的に受講を促す	A
		職員の専用資格取得を積極的に進めていますか。	A 介護福祉士の受験資格を持っている職員には、受験するよう勧め、必要があれば支援する	A	介護福祉士の資格取得のため、介護福祉実務者研修を1名の職員が受講した	A	介護福祉士の受験資格を持っている職員には、受験するよう勧め、必要があれば支援する	A
	記録・調査	ご利用者からの、生活援助全般にわたる意見や評価についての調査・アンケートなどを行っていますか。	C ご利用者へアンケート調査を実施し、意見・要望を伺いサービスの改善を図る また、月1回ご利用者と職員との意見交換会を開催する	A	月1回意見交換会を開催し、ご利用者からの意見や要望を伺い、サービスの改善、向上に努めた	A	ご利用者へアンケート調査を実施し、意見・要望を伺いサービスの改善を図る また、月1回ご利用者と職員との意見交換会を開催する	A
各種の記録は、適切に記入され、管理され、活用されていますか。		A 各種記録は、適切な記入を心掛け、職員の情報共有に活用するとともに、適切に情報管理を行う	A	各種の記録は適切な記入と管理を心掛け、情報共有に努めたがタイムリーに把握はできなかった	B	各種記録は、適切な記入を心掛け、職員の情報共有に活用するとともに、適切に情報管理を行う	A	
プライバシー	ご利用者の人権やプライバシー保護を最大限に配慮していますか。	A ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理を行う	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮した	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮し、情報管理を行う	A	
	ご利用者の情報については、外部に流出しないよう配慮されていますか。	A 情報管理を徹底し、個人情報外部に漏れないよう職員へ周知徹底する	A	ご利用者の個人情報外部に漏れないように、守秘義務について周知徹底した	A	情報管理を徹底し、個人情報外部に漏れないよう職員へ周知徹底する	A	
処遇計画等	個別ケアの目標・計画が、ご利用者の意見を取り入れて作成されていますか。	A カンファレンスの際は、ご利用者またはご家族のご意見やご要望を事前に伺い、できる限り反映できるように個別支援計画を作成する	A	カンファレンスの際は、事前にご利用者・ご家族に相談し、個別支援計画の見直しを行った	A	カンファレンスの際は、ご利用者またはご家族のご意見やご要望を事前に伺い、できる限り反映できるように個別支援計画を作成する	A	
事故発生時の対応	不測の事故に備えて、各種の訓練及び各種保険制度の活用などの配慮がなされていますか。	A 緊急対応マニュアル(火災・災害、ご利用者の容態急変等)を整備し、各種訓練を定期的実施する	A	緊急対応マニュアルを活用し、理学療法士・看護職員・生活支援員が連携し、緊急時対応に関する勉強会を行った	A	緊急対応マニュアル(火災・災害、ご利用者の容態急変等)を整備し、各種訓練を定期的実施する	A	
カンファレンス	ケース会議、事例研究会等を定期的に行っていますか。	A 年2回、ケース会議を開催する	A	年2回、カンファレンスを開催し、多職種が連携して、より良い支援体制を整えた	A	年2回、ケース会議を開催する	A	

6 デイサービス友道

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優)
B 一般的によくできている(良)

C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

デイサービス友道

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
1 サ ー ビ ス	利用申込みから利用終了までの手続きに関する項目	A	利用前の見学案内やカンファレンス、1日体験利用、毎月のPRチラシ配布等を実施し、サービスの概要を説明する	A	ケアマネジャー、ご利用者、ご家族の見学の受け入れや1日体験利用、カンファレンスを積極的に行った また、定期的にPRチラシを配布し、サービスの概要を十分に説明できた	A	利用前の見学案内やカンファレンス、1日体験利用、定期的にPRチラシ配布等を実施し、サービスの概要を説明する	A
		A	ケアマネジャーと連携し、情報の共有を行い、手続きの簡便化を図る	A	ケアマネジャーと連携し、手続きの簡便化を図った	A	ケアマネジャーと連携し、情報の共有を行い、手続きの簡便化を図る	A
		A	利用申請後、直ちにご利用者・ご家族と連絡をとり、1日体験利用を行い、新規利用開始までの時間短縮を行う	A	利用申請後、1日体験利用から新規利用へとつなげた	A	利用申請後、直ちにご利用者・ご家族と連絡をとり、1日体験利用を行い、新規利用開始までの時間短縮を行う	A
		A	専門職(ケアマネジャー、看護師)の参加を得て、話し合いの上、サービス利用の可否を決定する	A	専門職(ケアマネジャー、看護師)の参加を得て、話し合いの上、サービス利用の可否を決定した	A	専門職(ケアマネジャー、看護師)の参加を得て、話し合いの上、サービス利用の可否を決定する	A
		A	ご利用者やご家族の希望や状況に応じて、利用回数・時間・ゲスト利用、自費サービス等の調整を行う	A	利用回数や時間について、ご利用者の希望を伺い、ケアマネジャーと調整の上、利用増回やゲスト利用、自費サービスなど柔軟なサービスを実施した	A	ご利用者やご家族の希望や状況に応じて、利用回数・時間・ゲスト利用、自費サービス等の調整を行う	A
		A	ご家族、ケアマネジャーと密接に連絡を取り、利用を待つ方のゲスト利用や自費サービスを受け入れ、状態を把握する	A	ご家族、ケアマネジャーと密接に連絡を取り、利用を待つ方にはゲスト利用や自費サービスをお勧めし、ご利用いただけた	A	ご家族、ケアマネジャーと密接に連絡を取り、利用を待つ方のゲスト利用や自費サービスを受け入れ、状態を把握する	A
		A	ご利用者の状態を適宜アセスメントし、定期的にカンファレンスを行ない、利用可否やサービス内容の見直しを行う	A	ご家族、ケアマネジャーから情報収集し、定期的にご利用者の状態をアセスメントした また、必要時にカンファレンスを開催し、利用についての検討や、サービスの変更を行った	A	ご利用者の状態を適宜アセスメントし、定期的にかンファレンスを行ない、利用可否やサービス内容の見直しを行う	A
提 供	個別援助計画に関する項目	A	ケアマネジャーからのケアプランを受け、デイサービス友道での個別援助計画を策定し、サービスを実施する	A	ケアマネジャーが作成したケアプランに基づいて、デイサービス友道での個別援助計画を策定し、サービスを提供した	A	ケアマネジャーからのケアプランを受け、デイサービス友道での個別援助計画を策定し、サービスを実施する	A
		A	サービス担当者会議に各専門職の参加を得て、意見を個別援助計画に反映させる	A	サービス担当者会議の際、必要に応じて各専門職が参加し、意見をプランに反映させた	A	サービス担当者会議に各専門職の参加を得て、意見を個別援助計画に反映させる	A
		A	サービス担当者会議の際、ご利用者やご家族の意見を取り入れ、個別援助計画を策定し、わかり易い言葉で説明し同意を得る	A	サービス担当者会議の際に、ご利用者・ご家族の意見を伺い、計画を策定し、同意を得た	A	サービス担当者会議の際、ご利用者やご家族の意見を取り入れ、個別援助計画を策定し、わかり易い言葉で説明し同意を得る	A
		C	個別援助計画書の見直しを図り、定期的(月1回以上)に援助の経過を評価し、ケアマネジャーへ報告し、必要に応じて個別援助計画を見直す	A	毎月全利用者の援助経過の評価を行い、ケアマネジャーへ報告し、個別援助計画の見直しを行なった	B	個別援助計画書の見直しを図り、定期的(月1回以上)に援助の経過を評価し、ケアマネジャーへ報告し、必要に応じて個別援助計画を見直す	A
の 様	ご利用者・ご家族とのコミュニケーションに関する項目	A	カンファレンスや送迎時、連絡帳や電話連絡などで、ご利用者・ご家族の相談を受け付けたり、運営推進会議を開催し、意見を収集する機会を設ける	A	カンファレンスや送迎の際に、ご家族からご利用者の自宅の様子を伺う、または連絡帳や電話連絡で情報交換を行うなど、ご家族とのコミュニケーションを図り、意見収集に努めた また、運営推進会議を開き、意見交換を行った	A	カンファレンスや送迎時、連絡帳や電話連絡などで、ご利用者・ご家族の相談を受け付けたり、運営推進会議を開催し、意見を収集する機会を設ける	A
		A	送迎時のご家族との情報交換、連絡帳の活用などにより、ご家族とコミュニケーションを図る機会を確保し、異常の早期発見に努める	A	送迎時や、電話連絡・連絡帳などを活用し、毎日のご利用者の活動や身体状況、受診依頼をご家族へ連絡するなど、コミュニケーションを図る機会を設けた	A	送迎時のご家族との情報交換、連絡帳の活用などにより、ご家族とコミュニケーションを図る機会を確保し、異常の早期発見に努める	A
		A	送迎やサービス担当者会議、面会時などに、ご家族とコミュニケーションをとり、介護技術指導を行う	A	送迎やサービス担当者会議の際に、ご家族から相談を受け、移乗・排泄・認知症対応への対応等の介護技術指導を行った	A	送迎やサービス担当者会議、面会時などに、ご家族とコミュニケーションをとり、介護技術指導を行う	A
式	ご利用者の記録に関する項目	A	介護サービスや医療管理情報などを、適切かつ具体的に記録する	A	ご利用者の活動内容、身体状況、相談内容などを具体的に記録した	A	介護サービスや医療管理情報などを、適切かつ具体的に記録する	A
	ご利用者のプライバシーに関する項目	A	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを管理・更新する また、職員の守秘義務について周知徹底を図る	A	マニュアルを整備し、個人情報の取り扱いと守秘義務に関して、職員の意識統一を図った	A	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを管理・更新する また、職員の守秘義務について周知徹底を図る	A
体 制 に 関 する 項 目	職員の配置体制に関する項目	A	ケアマネジャーや関係機関など、専門職と連携して、定期的または随時助言、指導を受ける	A	ケアマネジャーや関係機関・法人本部に相談・報告を行い、指導および助言を受けた	A	ケアマネジャーや関係機関など、専門職と連携して、定期的または随時助言、指導を受ける	A
		A	ご利用者のニーズやADLに配慮すると共に、日によって送迎時間帯に大きな差が出ないよう効率的なルートと順番を検討し、安全な送迎を行う	A	ご利用者のニーズや状態・ADLに配慮して安全に送迎を行った また、遠方や魚津市外の方の送迎にも積極的に対応した	A	ご利用者のニーズやADLに配慮すると共に、日によって送迎時間帯に大きな差が出ないよう効率的なルートと順番を検討し、安全な送迎を行う	A

評価項目			H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
2 サー ビス 提 供 体 制 に	サービスの質の確保に関する項目	サービスに関するマニュアル等を利用し、職員に徹底していますか。	A	1ヶ月に1回、各種マニュアルを見直し、職員全員がマニュアルに沿った統一のケアを実施できるように、変更点などを周知徹底する	A	各種マニュアルを1ヶ月に1回見直し、職員全員がマニュアルに沿った統一のケアを実施できるよう、定期的に職員会議やミーティングを開き、周知徹底した	A	1ヶ月に1回、各種マニュアルを見直し、職員全員がマニュアルに沿った統一のケアを実施できるように、変更点などを周知徹底する	A
		定期的、または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。	A	個別援助計画作成時や状態変化時に、ケアカンファレンスを実施する	A	個別援助計画作成時や状態変化時など、必要に応じてケアカンファレンスを実施した	A	個別援助計画作成時や状態変化時に、ケアカンファレンスを実施する	A
		職員、ご利用者、ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	B	ご利用者・ご家族への満足度アンケートやカンファレンス時に寄せられた意見や要望を、職員間で情報共有し、サービス提供に反映させる	A	アンケートやカンファレンスで寄せられた意見、要望、提案等を職員間で情報共有し、サービスに反映できるよう検討した	B	ご利用者・ご家族への満足度アンケートやカンファレンス時に寄せられた意見や要望を、職員間で情報共有し、サービス提供に反映させる	A
3 地 域 全 体 の サ ー ビ ス 提 供 体 制	他機関との連携に関する項目	ご利用者のかかりつけ医を確認し、かかりつけ医と連携を確保していますか。	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し、連携を図る	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し連携を図った	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し、連携を図る	A
	衛生管理に関する項目	感染予防のための必要な対策を講じていますか。	A	保健所・県・市・法人からの通達をもとに、マニュアルを見直し、感染症予防に関する施設内研修に参加する	A	保健所の指導・法人の通達のもと、感染症予防マニュアルを見直し、感染症予防に関する施設内研修に参加し、知識の習得に努めた	A	保健所・県・市・法人からの通達をもとに、マニュアルを見直し、感染症予防に関する施設内研修に参加する	A
	広報・情報提供に関する項目	地域との交流に努めていますか。	A	地域密着型事業所として開放日や行事を設け、地域住民、ケアマネジャー、ご家族を招待し交流を図る また、職員が町内行事（蝶六祭り、地区の文化祭など）に積極的に参加する	A	地域密着型事業所として定期的に開放日（ふれあいデー）や行事を実施し、地域住民、ケアマネジャー、ご家族を招待し、ご利用者と交流を図った また、町内行事（蝶六祭り・地区の文化祭など）に参加したり班長の仕事を行ったり地域貢献に努めた	A	地域密着型事業所として開放日や行事を設け、地域住民、ケアマネジャー、ご家族を招待し交流を図る また、職員が町内行事（蝶六祭り、地区の文化祭など）に積極的に参加する	A
4 サ ー ビ ス 内 容	お一人おひとりのサービスに関する項目	食事をおいしく食べられる雰囲気作りを行っていますか。	A	畑で収穫した野菜や果物を使用した手作りの昼食やおやつ、郷土食や季節毎の行事食の実施、ウッドデッキでの昼食など、ご利用者の皆様が食事をおいしく楽しく食べられるような環境作りを努める	A	食事の時間はゆったりとした雰囲気作りを、手作りの郷土食や、畑で収穫した野菜や果物を使用した手作りの昼食やおやつを毎日提供した また、季節に応じた献立や世界の食事などの行事食を企画し実施した	A	畑で収穫した野菜や果物を使用した手作りの昼食やおやつ、郷土食や季節毎の行事食の実施など、ご利用者の皆様が食事をおいしく楽しく食べられるような環境作りを努める	A
		食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか。	A	館内の環境整備や消毒の実施、利用者への食前の手洗い、手指消毒並びに食後の口腔ケアを励行する 職員は手洗いうがいを徹底する	A	館内の環境整備や消毒を実施し、ご利用者には食前の手洗い、手指消毒並びに食後の口腔ケアを実施した また、職員は手洗いうがいを徹底した	A	館内の環境整備や消毒の実施、利用者への食前の手洗い、手指消毒並びに食後の口腔ケアを励行する 職員は手洗いうがいを徹底する	A
		心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者の心身の状況を的確に把握し、お一人おひとりに合った介助を行う	A	ご利用者をよく観察し、心身の状態をアセスメントした上で、お一人おひとりに合わせた排泄介助を行った	A	ご利用者の心身の状況を的確に把握し、お一人おひとりに合った介助を行う	A
		ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者の心理面に配慮し、不快感を感じさせないよう、プライバシーの尊重に配慮する	A	ご利用者の心理面に配慮しながら、プライバシーを尊重し、見守りや声掛け、排泄介助を行った	A	ご利用者の心理面に配慮し、不快感を感じさせないよう、プライバシーの尊重に配慮する	A
		認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか。	A	ご利用者お一人おひとりにあったプログラムや選択型レクリエーション（個別ケア、調理、園芸、生活リハビリなど）を用意し、実践する	A	研修や事例検討、カンファレンスを通して、認知症の状態に配慮した個別ケアや調理、生活リハビリなどの選択型レクリエーションを実施した	A	ご利用者お一人おひとりにあったプログラムや選択型レクリエーション（個別ケア、調理、園芸、生活リハビリなど）を用意し、実践する	A
		認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。	A	認知症高齢者の言動・心情の変化に気づく観察力を養い、「心地良い」と感じていただけるような対応に努め、ご家族、ケアマネジャー、関係機関と情報の共有を図り、より適切な対応を目指す	A	認知症高齢者の言動の変化に対し、ご家族、ケアマネジャー、関係各機関と情報の共有を図り、適切な対応に努めた	A	認知症高齢者の言動・心情の変化に気づく観察力を養い、「心地良い」と感じていただけるような対応に努め、ご家族、ケアマネジャー、関係機関と情報の共有を図り、より適切な対応を目指す	A
		身体的・精神的な能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか。	A	選択型レクリエーション（外出・園芸・調理・体操など数種類のプログラムから選択できる）を実施し、お一人おひとりの嗜好・希望に合わせたプログラムを作り上げる	A	魚津市独自のサービス開始に合わせ、選択型レクリエーション（外出・園芸・調理・体操など数種類のプログラムから選択できる）を実施した	A	選択型レクリエーション（外出・園芸・調理・体操など数種類のプログラムから選択できる）を実施し、お一人おひとりの嗜好・希望に合わせたプログラムを作り上げる	A
		ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか。	A	ご利用者の希望や夢を伺い、個別の外出や園芸、調理、体操など数多くのプログラムを設け、ご利用者自身が選択できるように配慮する	A	集団プログラムとともに選択型レクリエーションを実施し、ご利用者の希望を伺いながらプログラムを取り入れ、実施した	A	ご利用者の希望や夢を伺い、個別の外出や園芸、調理、体操など数多くのプログラムを設け、ご利用者自身が「〇〇してみたい」と選択できるように配慮する	A
5 サ ー ビ ス 内 容 評 価 一 覧 表	各サービスに共通な項目	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んで頂けるよう配慮していますか。	A	ご利用者が普段自宅でしていること、できることなど、ご利用者の持つ強みを把握し、ADLの維持・向上を目指し、意欲を引き出す声掛けや見守り支援を心掛ける	A	ご利用者が普段自宅でしていること、できることなど、ご利用者の持つ強みを把握し、ADLの維持・向上を目指し、意欲を引き出す声掛けや見守り支援を心掛けた	A	ご利用者が普段自宅でしていること、できることなど、ご利用者の持つ強みを把握し、ADLの維持・向上を目指し、意欲を引き出す声掛けや見守り支援を心掛ける	A
		ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか。	A	ケアマネジャー、専門職、かかりつけ医へ相談するとともに、福祉用具の情報を収集する	A	カンファレンスを開催し、福祉用具の活用について、ケアマネジャーや専門職へ相談し、情報を収集した	A	ケアマネジャー、専門職、かかりつけ医へ相談するとともに、福祉用具の情報を収集する	A
		ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか。	A	研修、勉強会へ参加し、接遇力の向上を目指す	A	研修に参加し、接遇力の向上に努めた	A	研修、勉強会へ参加し、接遇力の向上を目指す	A
		サービスの提供にあたって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか。	A	ご利用者・ご家族の意見を傾聴・記録し、職員間で情報共有し、サービスに反映できるよう努める	A	ご利用者・ご家族の意見を傾聴・記録し、職員間で情報共有し、サービスに反映できるよう努めた	A	ご利用者・ご家族の意見を傾聴・記録し、職員間で情報共有し、サービスに反映できるよう努める	A
	サービス提供の事前事後に関する項目	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか。	A	サービス提供前に準備、確認を行う	A	サービス提供前に準備、確認を行った	A	サービス提供前に準備、確認を行う	A
	サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか。	A	サービス提供後に報告・事後処理を行う	A	サービス提供後に報告・事後処理を行った	A	サービス提供後に報告・事後処理を行う	A	

7. あんどの里ありそ館

A非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優)
 B 全般的によくできている(良)

C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
 D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

あんどの里ありそ館

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H28年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
①	サ ー ビ ス の 利 用 申 込 み か ら 利 用 終 了 ま で の 手 続 き に 関 する 項 目	利用希望者の方に対して、サービスの概要を利用申込み前に充分に知らせていますか。	A サービス内容を理解していただけるよう、わかりやすく丁寧に説明する	A	利用申込み前に、パンフレットをご覧いただき、施設案内とサービスについて丁寧に説明を行った	A	サービス内容を理解していただけるよう、わかりやすく丁寧に説明する(パンフレット・PR紙を活用する)	A
		利用申込み手続きを簡便化する工夫を行っていますか。	A パンフレットやケアマネジャーからの情報を十分に活かし、簡便化を図る	A	事前に居宅ケアマネジャーに空き情報の連絡を行い、必要によってパンフレットと申込書を配布した	A	パンフレットやケアマネジャーからの情報を十分に活かし、簡便化を図る	A
		利用申請から利用決定までの時間の短縮を行っていますか。	A 書類等の準備と連絡を的確に行い、スムーズな利用に結びつける	A	居宅ケアマネジャーと、基本情報やアセスメントについて情報共有を図ることで、スムーズな利用に繋がった	A	居宅ケアマネジャーへの情報提供を密に行い、スムーズな利用に結びつける	A
		サービス利用の可否を決定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A 専門職の参加を得て話し合い、サービス利用の可否を決定する	A	居宅ケアマネジャーに調整を依頼し、サービス利用開始前に担当者会議を行った	A	専門職の参加を得て話し合い、サービス利用の可否を決定する	A
		ご利用者の状況に応じて、利用回数、時間、期間等の調整を行っていますか。	A ご利用者・ご家族の希望や必要に応じ、サービスの利用回数、時間等を的確に調整する	A	介護量に応じて、サービス内容の変更をご家族・ケアマネジャーと話し合い、決定した	A	ご利用者・ご家族の希望や必要に応じ、サービスの利用回数、時間等を調整する	A
		ご利用待ちの方に対して訪問を行う等、定期的な連絡、状況把握を行っていますか。	A 定期的な訪問や連絡などでご利用者、ケアマネジャーとの連絡を密にし、状況把握・状態に合ったケアを行う	A	電話での連絡・報告と状況確認・説明を密に行った	A	定期的な訪問や連絡などで、ご利用者、ケアマネジャーとの連絡を密にし、状況を把握しながらその方の状態に合ったケアを行う	A
		定期的、または必要に応じて、個々のご利用者の利用可否について見直しを行っていますか。	A 状況確認、アセスメントを行い、カンファレンスで検討し、ご利用者の利用可否について見直す	A	必要に応じて面談の場を設け、見直し等を行った	A	状況確認、アセスメントを行い、カンファレンスで検討し、ご利用者の利用可否について見直す	A
ス の 提 供	個 別 援 助 計 画 に 関 する 項 目	個別援助計画を策定し、それに基づくサービス実施を行っていますか。	A ケアプランに基づいた個別援助計画を策定し、サービスを実施する また、計画策定スケジュールの管理体制を整える	A	ケアプランに沿ったサービスを実施した	A	ケアプランに基づいた個別援助計画を策定し、サービスを実施する また、計画策定スケジュールの管理体制を整える	A
		個別援助計画を策定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A 専門職のカンファレンス参加および助言を得て、個別援助計画を策定する	A	専門職の参加・助言を得て、ケアマネジャー・ご家族と相談の上、策定した	A	専門職のカンファレンス参加および助言を得て、個別援助計画を策定する	A
		個別援助計画策定にあたって、ご利用者・ご家族の参加と同意を得ていますか。	A ご利用者・ご家族の希望や必要に応じ、利用回数、時間等を的確に調整する	A	ご本人・ご家族の意見を取り入れた計画を策定し、同意を得た	A	ご利用者・ご家族の希望や必要に応じ、利用回数、時間等を調整する	A
		援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じて個別援助計画の見直しを行っていますか。	A 援助経過の観察・評価を正確に行い、個別援助計画を定期的に見直す	A	カンファレンスで個別援助計画を見直し、ケアマネジャーへケアプランの変更を依頼し、サービスの追加・変更を行った	A	援助経過の観察・評価を正確に行い、個別援助計画を定期的に見直す	A
の 様 式	ご 利 用 者 ・ ご 家 族 と の コ ミュ ニ ケー ション に 関 する 項 目	定期的または必要に応じて、ご利用者・ご家族との相談や意見収集の機会を持っていますか。	A 個別援助計画更新時やご利用者の状況に変化が生じた際は、相談・意見収集をスムーズに行う	A	ご家族・ケアマネジャーに適宜相談調整を行った	A	個別援助計画更新時や、ご利用者の状況に変化が生じた際は、相談・意見収集をスムーズに行う	A
		ご家族との連携・コミュニケーションを確保するように努めていますか。	A 連絡・相談・報告を適宜行い、信頼関係を構築する	A	送迎時や面会時のほか、連絡帳や電話でご家族とのコミュニケーションを図った	A	連絡・相談・報告を適宜行い、信頼関係を構築する	A
		ご家族への介護技術指導を定期的、または必要に応じて行っていますか。	C 希望者には家族懇談会を年1回行う	A	家族懇談会の日程を調整したが、担当ケアマネジャーとの定期面談のみ実施し、懇談会はできなかった	C	希望者には家族懇談会を年1回行う	A
ご 利 用 者 の 記 録 に 関 する 項 目	ご利用者に関する情報を適切に記録していますか。	A システム開発会社と協力して、より見やすく・更に使いやすいシステムへ改善し、記録管理の効率・簡素化・情報共有の体制を構築する	A	システム開発会社と協力し、システムの申し送り機能を拡充して、情報共有の体制を改善した	A	システム開発会社と協力して、より見やすく使いやすいシステムへ改善し、記録管理の効率化・簡素化を図り、継続的に情報共有の体制を構築する	A	
ご 利 用 者 の プ ライ バシー に 関 する 項 目	ご利用者の人権やプライバシー保護に適切な配慮を行っていますか。	A 個人情報の管理を徹底する	A	ご利用者の人権やプライバシー保護に配慮した	A	個人情報の管理を徹底する	A	
② サ ー ビ ス の 提 供 体 制 に 関 する 項 目	職 員 の 配 置 体 制 に 関 する 項 目	個々のサービスの提供に関して、定期的、または随時に指導・助言が行われる体制がとられていますか。	A 適宜状況報告を行い、職員同士の連携体制を構築する	A	ご利用者の退院時には、詳細な情報伝達を行い、適切な介護ができるよう指導を行った	A	管理者が現場に入り、一緒に介護方法について把握し、必要に応じて、指導・助言を行う	A
		ご利用者の送迎を効果的に行っていますか。	A ご利用者の状態やADLに配慮した送迎を行う	A	ご利用者の状態やADLに配慮した送迎を行った	A	ご利用者の状態やADL・雰囲気配慮した送迎を行う	A
	サ ー ビ ス の 質 の 確 保 に 関 する 項 目	サービスに関するマニュアル等を利用し、職員に徹底していますか。	B マニュアルの作成・見直しを各担当者に振り分け、理解を深めるため、勉強会を行う	A	勉強会を行ったが、マニュアルの更新は出来なかった	B	マニュアルの見直し・更新を各担当者に振り分け、理解を深めるため、勉強会を行う	A
		定期的、または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。	A 個別援助計画作成時や必要時にカンファレンスを実施する	A	適宜カンファレンスを実施した	A	個別援助計画作成時や必要時に、カンファレンスを実施する	A
		職員、ご利用者、ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	A ご利用者・ご家族へアンケート調査を行い、結果を分析する 会議で検討し業務改善に結びつける	A	ご利用者、ご家族へアンケート調査を行い、結果を分析した 職員会議で検討し、業務改善に結びつけた	A	ご利用者、ご家族へアンケート調査を行い、分析した結果を会議で検討し、業務改善に結びつける	A
他 機 関 と の 連 携 に 関 する 項 目	ご利用者のかかりつけ医師を確認し、連携を確保していますか。	A ご本人、ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し、主治医からの適確な指示、受診を円く連携していく	A	異常の早期発見に努め、主治医と連携を図り、適切に医療受診を支援した	A	ご本人、ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し、主治医との連携のもと、適切なタイミングでの受診を支援する	A	
衛 生 管 理 に 関 する 項 目	感染予防のための必要な対策を講じていますか。	A 日頃から感染予防に努め、特に感染流行時期においては徹底した感染予防対策を実施する	A	感染流行時期には、徹底した手洗い・うがい・マスクの着用を行った	A	日頃から感染予防に努め、特に感染流行時期においては徹底した感染予防対策を実施する	A	

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
提の③ サ地 供 域 体 全 制 体	広報・情報提供に関する項目	地域との交流に努めていますか。	B	ご家族も参加し楽しんでいただけるようなイベントを開催する	A	イベントの度に案内を配布したが、参加数が少なかった	B	ご家族にも楽しんで参加していただけるようなイベントを開催する	A
		ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。	A	ご家族も参加し楽しんでいただけるようなイベントを開催する	A	ボランティアの受入れ調整を行い、ご利用者の皆様に楽しんでいただいた	A	ご家族にも楽しんで参加していただけるようなイベントを開催する	A
④ サ ー ビ ス 内 容	個々のサービスに関する項目	食事をおいしく食べられる雰囲気作りを行っていますか。	A	楽しみとなる食事を提供し、ゆったりとした雰囲気作りに努める	A	季節感のある食事を提供し、ゆったりとした雰囲気作りに努めた	A	ご利用者にとって食事の時間が楽しみになるよう、ゆったりとした雰囲気作りに努める	A
		食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか。	A	手洗い・うがいを徹底し、感染症予防に努める	A	食前の手洗い、手指消毒を徹底した	A	手洗い・うがいを徹底し、感染症予防に努める	A
		心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか。	A	心身の状態に合わせた排泄ケアを行い、プライバシーの尊重に配慮する	A	カーテン・ベッド・パーテーションなどを使用し、ご利用者の心身の状態に合わせた排泄介助を行った	A	心身の状態に合わせた排泄ケアを行い、プライバシーの尊重と安全面に配慮する	A
		ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか。	A	一人ひとりのご利用者の心理面・精神面に配慮して排泄ケアを行う	A	一人ひとりのご利用者の心理面に配慮して、見守り、声掛け、排泄介助をきめ細やかに行った	A	一人ひとりのご利用者の心理面・精神面に配慮し、安全な排泄ケアを行う	A
		認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか。	A	事例やカンファレンスを参考に、無理のないプログラムを提供する	A	一人ひとりに合わせたプログラムを実施した	A	事例やカンファレンスを参考に、無理のないプログラムを提供する	A
		認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。	A	ご家族・主治医・担当ケアマネジャーと相談・連携し、適切な対応を速やかに行う	A	主治医・ご家族と特に相談を行い、適切な対応ができるように適宜努めた	A	ご家族・主治医・担当ケアマネジャーと相談・連携し、適切な対応を速やかに行う	A
		身体的・精神的能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか。	A	一人ひとりの状態に合わせ特化したプログラムを実施し、満足度の高いケアを行う	A	レクリエーションプログラムを工夫して実施した	A	一人ひとりの状態に合わせ特化したプログラムを実施し、満足度の高いケアを行う	A
		ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか。	B	一人ひとりに合わせたプログラム作りと雰囲気作りで、レクリエーションの充実・ご利用者の精神の安定を図る	A	認知レベルに合わせたプログラム・雰囲気作りに努めた	B	一人ひとりに合わせたプログラム作りと雰囲気作りで、レクリエーションの充実・ご利用者の精神の安定を図る	A
⑤ サ ー ビ ス 内 容 評 価 一 覧 表	各サービスに共通な項目	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んで頂けるよう配慮していますか。	A	的確にカンファレンスを行い、自立支援を行う	A	カンファレンスを行い、状態に合わせた自立支援を行った	A	適宜カンファレンスを行い、自立支援を行う	A
		ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか。	A	状態に合わせてご家族・ケアマネジャーと相談し、速やかに福祉用具の手配・活用を行う	A	ご利用者の状態に合わせてご家族・ケアマネジャーと相談し、必要な福祉用具の手配を行った	A	ご利用者の状態に合わせてご家族・ケアマネジャーと相談し、速やかに福祉用具の手配・活用を行う	A
		ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか。	A	毎日のふりかえりを行い、接遇・サービス力の向上に努める	A	接遇等についてのふりかえりを毎日行い、職員間で徹底した	A	毎日のふりかえりを行い、接遇・サービス力の向上に努める	A
		サービスの提供にあたって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか。	A	ご利用者・ご家族の意見やケアマネジャーのアドバイスを、サービスへ反映するように努める	A	ご利用者・ご家族の意見を傾聴し、サービスに反映できるよう努めた	A	ご利用者・ご家族の意見やケアマネジャーのアドバイスを、サービスへ反映するように努める	A
	サービス提供の事前事後に関する項目	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか。	A	システムの活用でご利用者の情報をしっかりと把握・確認し、サービスを提供する	A	申し送り・引き継ぎを充分に行い、サービス提供に努めた	A	システムの活用でご利用者の情報をしっかりと共有し、サービスを提供する	A
		サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか。	A	しっかりと情報共有を行うことで、サービス力の安定と向上に努める	A	記録の記入漏れがないように二重確認を行った引き継ぎの時間を確保し、情報の共有に努めた	A	しっかりと情報共有を行うことで、サービス力の安定と向上に努める	A

8 花みずき（稲荷町）

A 非常に優れており他の施設・事業所の模範となる（優）

C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)

B 全般的によくできている（良）

D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

花みずき（稲荷町）

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
① サ ー ビ ス の 提 供 の 様 式	利用申込みから利用終了までの手続きに関する項目	利用希望の方に対して、サービスの概要を利用申込み前に十分に知らせていますか。	A	全職員がサービスの内容を理解し、見学マニュアルを基にわかり易く充分な説明を行う事ができる	A	全職員がサービスの内容を理解し、見学マニュアルを基にわかり易く充分な説明を行う事ができた	A	PR紙やイベントで花みずきを周知すると共に、全職員がサービスの内容を理解し、見学マニュアルを基にわかり易く充分な説明を行う	B
		利用申込み手続きを簡便化する工夫を行っていますか。	A	ケアマネジャーからの情報を十分に活かし、手続きの簡便化を図る	A	ケアマネジャーの情報を十分に生かし、手続きの簡便化を図った	A	ケアマネジャーからの情報を十分に活かし、手続きの簡便化を図る	A
		利用申請から利用決定までの時間の短縮を行っていますか。	A	ご本人・ご家族・ケアマネジャーと密に連携を取り、利用申請から利用決定までの時間を短縮する	A	利用申込受付後、直ちにご本人やご家族と連絡を取り、利用開始前の実態調査や福祉用具の手配をした	A	ご本人・ご家族・ケアマネジャーと連携し、利用申請から利用決定までの時間を短縮する	A
		サービス利用の可否を決定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A	専門職との話し合いの機会を多くし、サービス利用の可否を決定する	A	専門職の参加を得て、話し合いの上、サービス利用の可否を決定した	A	専門職との話し合いの機会を多くし、サービス利用の可否を決定する	A
		ご利用者の状況に応じて、利用回数、時間、期間等の調整を行っていますか。	A	ご利用者の希望や必要に応じて、利用回数・時間等を調整する	A	ご利用者の希望や必要に応じて、利用回数や時間等を調整し、より密にサービスを組み込んだ	A	ご利用者の希望や必要に応じて、利用回数・時間等を調整する	A
		定期的、または必要に応じて、個々のご利用者の利用可否について見直しを行っていますか。	A	状況確認・アセスメントを行い、カンファレンスで検討し、ご利用者の利用可否について見直しを行う	A	状況変化に応じてアセスメントを行い、カンファレンスで検討し、ご利用者の利用可否について見直しを行った	A	状況確認・アセスメントを行い、カンファレンスで検討し、ご利用者の利用可否について見直しを行う	A
	個別援助計画に関する項目	個別援助計画を策定し、それに基づきサービス実施を行っていますか。	A	適宜カンファレンスを行い、個別性・具体性の高い個別援助計画を策定し、確実に実施する。また、策定に時間が掛かりすぎないように、策定スケジュールの管理体制を整える	A	ケアプランに基づいた計画を迅速に策定し、更に個別性と具体性の高い個別援助計画を作成できた	A	適宜カンファレンスを行い、個別性が高く具体的な個別援助計画を策定し、確実に実施する	A
		個別援助計画を策定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A	専門職との話し合いの機会を設け、個別援助計画を策定する	A	必要に応じて専門職の参加・助言を得て計画を策定した	A	専門職との話し合いの機会を設け、個別援助計画を策定する	A
		個別援助計画策定にあたって、ご利用者・ご家族の参加と同意を得ていますか。	A	ご利用者・ご家族・事業所との懇談の機会を設け、お互いに合意し、満足度を高めるよう努める	A	ご利用者・ご家族の意見を取り入れた計画を策定し、同意を得ることができた	A	ご利用者・ご家族・事業所との懇談の機会を設け、お互いに合意し、満足度を高めるよう努める	A
		援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じて個別援助計画の見直しを行っていますか。	A	援助経過の観察・評価を行い、ご利用者の状態に合わせて迅速に見直しを行う	A	援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じてケアマネジャーと連携を取り、ケアプランの見直しや個別援助計画の見直しを行った	A	援助経過の観察・評価を行い、ご利用者の状態に合わせて迅速に見直しを行う	A
	ご利用者・ご家族とのコミュニケーションに関する項目	定期的または必要に応じて、ご利用者・ご家族との相談や意見収集の機会を持っていますか。	A	定期的に相談・意見収集の機会を設ける	A	個別援助計画更新時や、ご利用者の状況に変化があった時、ご利用者・ご家族との相談の機会を設けた	A	定期的に相談・意見収集の機会を設けると共に、状況の変化に応じて相談の機会を設ける	A
		ご家族との連携・コミュニケーションを確保するように努めていますか。	A	積極的にご家族とのコミュニケーションや連携を図る	A	送迎時や、連絡帳・電話連絡を通し、要望を伺ったり、ご家族とのコミュニケーションを図るよう努めた	A	積極的にご家族とのコミュニケーションや連携を図る	A
ご家族への介護技術指導を定期的、または必要に応じて行っていますか。		A	ご家族や地域の方を対象に介護技術指導を行う	A	地域包括支援センター主催の事例検討会に積極的に参加し、地域の方に対する必要なサポート等の情報交換ができた	A	地域包括支援センター主催の事例検討会等に積極的に参加し、情報収集・意見交換ができるよう努める	A	
ご利用者の記録に関する項目		ご利用者に関する情報を適切に記録していますか。	A	ご利用者の状況の変化に応じ、より適切に記録する	A	適切に記録した	A	ご利用者の状況の変化に応じ、より適切に記録する	A
ご利用者のプライバシーに関する項目	ご利用者の人権やプライバシー保護に適切な配慮を行っていますか。	A	個人情報保護法に基づき、配慮に努める	A	十分に配慮した	A	個人情報保護法に基づき、配慮に努める	A	
② サ ー ビ ス の 提 供 体 制 に つ い て	職員の配置体制に関する項目	個々のサービスの提供に関して、定期的、または随時に指導・助言が行われる体制がとられていますか。	A	ケアマネジャーに適宜報告・相談し、指導・助言を基に、業務改善を行う	A	関係機関の訪問時や、ケアマネジャーの来訪時に、指導・助言を受け、サービスの改善に努めた	A	ケアマネジャーに適宜報告・相談し、指導・助言を基に、業務改善を行う	A
		ご利用者の送迎を効果的に行っていますか。	A	ご利用者の状態やADLに配慮した安全な送迎を行い、事故を起こさないよう努める	A	ご家族の希望や、ご利用者の状態・ADLに配慮し、送迎を行った	A	ご利用者の状態やADLに配慮した安全な送迎を行い、事故を起こさないよう努める	A
	サービスの質の確保に関する項目	サービスに関するマニュアル等を利用し、職員に徹底していますか。	A	各種マニュアルの確認・見直しを行い、必要であれば変更を行う等、内容の更新を徹底する	A	全マニュアルの確認・見直し、個別マニュアルや緊急時対策マニュアルの改善を行った	A	各種マニュアルの確認・見直しを行い、必要であれば変更を行う等、内容の更新を徹底する	A
		定期的、または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。	A	ご利用者の状態に応じ、迅速にカンファレンスを実施する	A	個別援助計画作成時や、ご利用者の状態に応じてカンファレンスを実施した	A	ご利用者の状態に応じ、迅速にカンファレンスを実施する	A
		職員、ご利用者、ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	A	ご意見を業務改善に結びつけ、ご利用者・ご家族に公開する	A	ご利用者やご家族からの意見を傾聴し、業務改善に努めた	A	ご利用者やご家族から直接意見を伺ったり、ご意見箱を活用して意見を収集し、迅速な業務改善に結びつける	A
	他機関との連携に関する項目	ご利用者のかかりつけ医を確認し、かかりつけ医と連携を確保していますか。	A	充分にかかりつけ医との連携を確保する	A	ご利用者に体調の変化があった時は、かかりつけ医に連絡を取り、指示を受けるなどの連携を確保した	A	充分にかかりつけ医との連携を確保する	A
衛生管理に関する項目	感染予防のための必要な対策を講じていますか。	A	県や保健所からの通達、並びに感染予防委員会を中心に策定したマニュアルを基に、日々の感染予防管理を徹底する。マニュアルが更新された時は、職員へ周知徹底する	A	改定された感染症予防対策マニュアルを基に、日々の感染予防管理を徹底した	A	県や保健所からの通達、並びに感染予防委員会を中心に策定したマニュアルを基に、日々の感染予防管理を徹底する。マニュアルが更新された時は、職員へ周知徹底する	A	

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標	
サ③ 地域 交流 促進 体制 提供	広報・情報提供に関する項目	地域との交流に努めていますか。	A	保育園児の定期訪問の受け入れや、家庭菜園作り、体操教室の参加を促し、地域との交流・関係作りに努める	A	町内祭礼や、保育園児との交流など、地域との交流の機会を設けた	A	保育園児の定期訪問の受け入れや、家庭菜園作り、イベントの参加を促し、地域との交流・関係作りに努める	A
		ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。	A	地域住民の方も行事に参加できるように広報活動を行い、受け入れる機会を増やす	A	地域の老人会会合の場を提供した また、新しいボランティアの方々をお迎えし、近隣の方にも参加の呼びかけを行った	A	地域住民の方もイベントや行事に参加できるように広報活動を行い、受け入れる機会を増やす	A
④ サ ー ビ ス 内 容	個々のサービスに関する項目	食事をおいしく食べられる雰囲気作りを行っていますか。	A	ご利用者に安全に食事を提供すると共に、おいしく召し上がっていただけるよう工夫する	A	ご利用者に安全に食事を提供すると共に、おいしく召し上がっていただけるよう季節感や環境、個々に合った食事形態に配慮した	A	ご利用者に安全に食事を提供すると共に、おいしく召し上がっていただけるよう工夫する	A
		食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか。	A	食前・食後の衛生面の配慮を行う	A	食前は手洗い・消毒、食後は口腔ケアを実施し、食事前エプロンなどは毎回清潔な物を使い、衛生面に配慮した	A	食前・食後の衛生面の配慮を行う	A
		心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか。	A	プライバシーに配慮し、お一人おひとりの状態に合わせた方法で安全な介助を行う	A	ご利用者お一人おひとりの心身の状態に合わせた排泄介助を行った	A	プライバシーに配慮し、お一人おひとりの状態に合わせた方法で安全な介助を行う	A
		ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者が羞恥心を抱く事のないよう、心理面に配慮した排泄介助を行う	A	ご利用者の心理面に配慮して、声掛けや見守りをし、ご本人に同意を得ながら排泄介助を行った	A	ご利用者が羞恥心を抱く事のないよう、心理面に配慮した排泄介助を行う	A
		認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか。	B	プログラム内容の充実を図る	A	認知症状態に配慮したプログラム内容が用意され、新規内容導入に取り組む	A	認知症状態に配慮した新規プログラム内容を導入に取り組み	A
		認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。	A	認知症ご利用者の状態変化を察知し、より適切な対応を目指す	A	認知症高齢者の行動等の観察と分析をし、適切な対応ができた	A	外部研修でより多くの知識を習得し、認知症ご利用者の状態変化を察知し、より適切な対応を目指す	A
		身体的・精神的な能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか。	A	ご利用者の身体的能力、嗜好等を把握したレクリエーションを企画し、プログラムを工夫する	A	ご利用者の身体的能力、嗜好等に合わせたレクリエーションを企画し、実施した	A	ご利用者の身体的能力、嗜好等を把握したレクリエーションを企画し、プログラムを工夫する	A
		ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか。	A	ご利用者の嗜好を把握し、多様な集団プログラム・個別プログラムを企画し、参加を図る	A	ご利用者に分かりやすく安全なレクリエーションを行った内容により参加されない方には、個別にレクリエーションを実施した	A	ご利用者の嗜好を把握し、多様な集団プログラム・個別プログラムを企画し、参加を促す	A
⑤ サ ー ビ ス 内 容 評 価 一 覧 表	各サービスに共通な項目	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んで頂けるよう配慮していますか。	A	ご本人のやる気を引き出せるよう声掛けの工夫を行い、介護側とご本人・ご家族との合意や共通目的を基に援助を行う	A	ご利用者が意欲的に日常動作を行えるよう声掛けを工夫し、進んで取り組んでいただけるよう対応した	A	ご本人のやる気を引き出せるよう声掛けの工夫を行い、介護側とご本人・ご家族との合意や共通目的を基に援助を行う	A
		ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか。	A	ケアマネジャーや専門業者と相談しながら、より適切な福祉用具を提案する	A	ご利用者の障害の状態に応じた福祉用具の提案・活用を図った	A	ケアマネジャーや専門業者と相談しながら、より適切な福祉用具を提案する	A
		ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか。	A	相手を敬う言葉遣いが出ていたか、日々職員間で振り返り、改善する	A	ご利用者に対し、温かみを感じられるような言葉遣いと、敬いの心を持って接することができた	A	相手を敬う言葉遣いができていたか、日々職員間で振り返り、改善する	A
		サービスの提供にあたって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか。	A	意見を傾聴し記録に残し、できる限りご利用者の意見を取り入れ、サービスに反映できるよう努める	A	デイサービスの利用開始時、ご利用者・ご家族の意見を念頭に、可能な限りサービスに反映できた	A	意見を傾聴し記録に残し、できる限りご利用者の意見を取り入れ、サービスに反映できるよう努める	A
	サービス提供の事前事後に関する項目	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか。	A	もれなく準備・確認を行う	A	サービス提供前に、準備・確認を行った	A	もれなく準備・確認を行う	A
	サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか。	A	もれなく報告・事後処理を行う	A	サービス提供後に、報告・事後処理を行った	A	もれなく報告・事後処理を行う	A	

9 花みずき弐番館

A非常に優れており他の施設・事業所の模範となる（優） C概ね適正であるが、一部改善の余地がある（可）
 B全般的によくできている（良） D重要な事項または多くの項目において未達成である（不可）

花みずき弐番館

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
① サ イ ビ ス の 提 供 の 様 式	利用希望者の方に対して、サービスの概要を利用申込み前に十分に知らせていますか。	A	事業所パンフレット・料金表の内容を随時見直し、変更点や改善点があれば修正の上、最新の情報を記載する 全職員がサービスの内容・コンセプトを理解し見学マニュアルを基に懇切丁寧に説明する	A	パンフレット・料金表・広報誌をご覧いただき、施設案内とサービスについて懇切丁寧に説明を行ったも、職員全員が対応出来なかつたり、説明が不十分な事もあった	C	事業所パンフレット・料金表の内容を随時見直し、変更点や改善点があれば修正の上、最新の情報を記載する 全職員がサービスの内容・コンセプトを理解し、見学マニュアルを基に懇切丁寧に説明できるようになる 出来ていない部分を明確にし、できるよう徹底する	A
	利用申込み手続きを簡便化する工夫を行っていますか。	A	申込時、ケアマネジャー、ご利用者・ご家族の事前情報を十分に生かし、情報不足があればポイントを押さえた聞き取りを行う 介護保険証・医療情報の書類などを準備し、手続きの簡便化を図る	A	ケアマネジャー、ご利用者・ご家族の事前情報を整理し、介護保険証・医療情報などの書類を準備し、手続きを簡便化したが、全職員への周知が不十分だった	B	申込時、ケアマネジャー、ご利用者・ご家族の事前情報を十分に生かし、情報不足があればポイントを押さえた聞き取りを行い、全職員が理解をしておく 介護保険証・医療情報の書類などを準備し、手続きの簡便化を図ることができる	A
	利用申請から利用決定までの時間の短縮を行っていますか。	A	利用申請後、直ちにケアマネジャー・医療機関への連絡・情報収集を行い、即日ご利用者ご家族へサービス利用決定の連絡を行う	A	利用申請後、直ちにケアマネジャー・医療機関への連絡・情報収集を行い、即日ご利用者ご家族へサービス利用決定の連絡を行った	A	利用申請後、直ちにケアマネジャー・医療機関への連絡・情報収集を行い、即日ご利用者ご家族へサービス利用決定の連絡を行う	A
	サービス利用の可否を決定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A	既往歴や現病を鑑み、必ず各専門職の参加を得て情報を共有し、充分な話し合いと合意の上、サービス利用の可否を決定する	A	必ず専門職の参加を得てカンファレンスを実施し、情報共有したうえで本人の意思を尊重し、サービス利用の可否を決定した	A	現病状に対し、必ず各専門職の参加を得て情報を共有し、充分な話し合いと合意の上、満足ができるサービス利用の可否を決定する	A
	ご利用者の状況に応じて、利用回数、時間、期間等の調整を行っていますか。	A	ご利用者とご家族の希望や、その方のADL・IADLに鑑み、状況に応じて利用回数・時間・期間等について検討し、カンファレンス実施後、調整を行う	A	ご利用者の希望や状況に応じて、利用回数や時間、期間等についてケアマネジャーとご家族へ連絡し、カンファレンスを実施後、調整を行った	A	ご利用者とご家族の希望や、その方のADL・IADLに鑑み、状況に応じて利用回数・時間・期間等について検討し、カンファレンス実施後、調整を行う	A
	ご利用待ちの方に対して訪問を行う等、定期的な連絡、状況把握を行っていますか。	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャー、医療機関等との連絡を定期的に行い、入居の調整を進める また、ご利用者が入院中の場合は、医療機関と連携し、面談を行的確な情報収集と状況把握に努め、経過を記録に残す	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャー、医療機関等との連絡を随時行い、アパート入居の調整を迅速に行った	A	ご利用者・ご家族、ケアマネジャー、医療機関等との連絡を定期的に行い、入居の調整を進める また、ご利用者が入院中の場合は、医療機関と連携し、面談を行的確な情報収集と状況把握に努め、経過を記録に残す	A
	定期的、または必要に応じて、個々のご利用者の利用可否について見直しを行っていますか。	A	ご利用者への電話連絡や訪問面談をし、アセスメント・評価・モニタリングを行い、事業所カンファレンスで状況を確認し、職員間で共有する 定期的に入居者の利用可否について見直しを行う	A	ご利用者への電話連絡や、入院中の方には訪問面談をし、再アセスメント・評価・モニタリングを行うことで状況を確認し、事業所内カンファレンスにて職員間で共有することができた	A	ご利用者への電話連絡や訪問面談をし、アセスメント・評価・モニタリングを行い、カンファレンスにて状況を確認し、職員間で共有する 定期的に入居者の利用可否や曜日変更について見直しを行う	A
	個別援助計画を策定し、それに基づくサービスを実施していますか。	A	ケアプランに基づいた個別援助計画を策定し、カンファレンスで情報共有した上でサービスを提供する また、計画策定の管理体制を整える	A	ケアプランに基づいた個別援助計画を確実に策定し、カンファレンスで情報共有した上で、個別ケアサービスを提供することができた また計画策定を担当者毎に行えるようになった	A	ケアプランに基づいた個別援助計画を迅速に策定し、カンファレンスで情報共有した上でサービスを提供する また、計画策定の管理体制を整える	A
	個別援助計画を策定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A	専門職や医療機関等の関係機関からの参加・助言を得て、個別ケアの概念をより明確にし、個別援助計画を策定する	A	専門職や医療機関等の関係機関からの参加・助言を得て、個別援助計画を策定した	A	専門職や医療機関等の関係機関からの参加・助言を得て、個別ケアの概念をより明確にし、個別援助計画を策定する	A
	個別援助計画策定にあたって、ご利用者・ご家族の参加と同意を得ていますか。	A	個別援助計画策定後、内容を丁寧に説明し確認した上で署名をいただき、同意を得る 県外にご家族がいる場合は、電話もしくは書類を作成し、説明を行う	A	ご利用者またはご家族同席のもと、わかりやすい言葉で内容を丁寧に説明し、確認した上で署名をいただき同意を得た 県外にいるご家族には、電話や書類を用いて説明を行った また、書類を迅速・確実にご家族に渡せるよう、クリアケースを活用し徹底した	A	個別援助計画策定後、内容を丁寧に説明し確認した上で署名をいただき、同意を得る 県外にご家族がいる場合は、電話もしくは書類を作成し、説明を行う	A
援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じて個別援助計画の見直しを行っていますか。	A	全ご利用者の援助経過の観察・評価を正確に行い、日々のサービス提供の中で記録に残し、月1回ケアマネジャーへ報告後、情報照会の上、個別援助計画の見直しを行う	A	全ご利用者の援助経過の観察・評価を職員で共有し、定期的ケアマネジャーへ報告した上で見直しを行った	A	全ご利用者の援助経過の観察・評価を正確に行い、毎月末に各担当者よりケアマネジャーへ報告後、情報照会の上、個別援助計画の見直しを行う	A	
定期的または必要に応じて、ご利用者・ご家族との相談や意見収集の機会を持っていますか。	A	介護認定区分変更、入退院時、個別支援計画更新時等、ご利用者・ご家族の意向や希望を確認し、相談援助や意見収集の機会を持つ	A	ご利用者の状況に変化が生じた際、ご利用者・ご家族から意向や希望を確認する機会を設け、記録に残した またこちらからも積極的に情報を提供する事ができた	A	介護認定区分変更、入退院時、個別支援計画更新時等、ご利用者・ご家族の意向や希望を確認し、相談援助や意見収集の機会を持つ	A	
ご利用者・ご家族とのコミュニケーションに関する項目			カンファレンスや送迎時、連絡帳・電話・メールでのやり取りや、日々の面会等を通じて、ご家族とこまめに連絡を取り、信頼関係を構築し、コミュニケーションを十分に図る	A	カンファレンスや面会・送迎時に、ご家族と情報交換を行い、コミュニケーションを図り、信頼関係を構築することができた	A	カンファレンスや送迎時、連絡帳・電話・メールでのやり取りや、日々の面会等を通じて、ご家族とこまめに連絡を取り、信頼関係を構築し、コミュニケーションを十分に図る	A
ご家族への介護技術指導を定期的、または必要に応じて行っていますか。	C	介護技術指導の内容を検討し、面会時等に指導の機会を設ける また、最新の介護技術や注意事項などを記載した広報誌を発行し、情報提供を行う	A	介護技術指導の内容を検討し、個別に指導の機会を設けることができた 広報誌を活用できたが、介護教室をするまでには至らなかった	B	介護技術指導の内容を検討し、面会時等に指導の機会を設ける ご家族が介護技術等で困っている事・聞きたい事を、相談出来る体制や機会を設ける	A	

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
提供サービスの様式	ご利用者の記録に関する項目	A	プライバシーに配慮した情報管理・活用法を検討・改善し、個人情報の管理を徹底する	A	プライバシーに配慮し、記録を行い情報管理をすることができた	A	プライバシーに配慮した情報管理・活用法を検討・改善し、介護サービス・医療管理を徹底する	A
	ご利用者のプライバシーに関する項目	A	介護保険法を遵守し、ご利用者の人権やプライバシー保護の配慮を行う 守秘義務について周知徹底を図る	A	介護保険法を遵守し、プライバシーの保護に十分配慮し、守秘義務を徹底した	A	介護保険法を遵守し、ご利用者の人権やプライバシー保護の配慮を行う 守秘義務について周知徹底を図る	A
職員配置体制の提供体制	職員の配置体制に関する項目	A	ケアマネジャー・関係機関へ、来訪時またはFAX・電話により状況報告・相談し、指導・助言を受け連携を図る 事業所内においても、管理者・サービス提供責任者・専門職と連携を図り、指導・援助を行う体制をとる	A	居宅支援事業所への訪問時や、ケアマネジャー来訪時、またはFAX・電話等により、指導・助言を受け連携を図ることができた 事業所内においても、管理者・サービス提供責任者・専門職より相談・指導・援助を行う体制をとった	A	ケアマネジャー・関係機関へ、来訪時またはFAX・電話により状況報告・相談し、指導・助言を受け連携を図る 事業所内においても、管理者・サービス提供責任者・専門職と連携を図り、相談・指導・援助を行う体制をとる	A
		A	ご利用者・ご家族の要望に応え、お一人おひとりの状態やADLに配慮した送迎を行う また、その際はご家族に対し、ご利用当日の様子などを報告すると共に自宅での様子も伺い、状態を把握する	A	ご利用者・ご家族の要望に応え、お一人おひとりの状態やADLに合わせ、安全な送迎を行うことができた また、送迎時には報告を行い、ご家族とコミュニケーションを図ることができた	A	ご利用者・ご家族の要望に応え、お一人おひとりの状態やADLに配慮した安全な送迎を行う また、その際はご家族に対し、ご利用当日の様子などを報告すると共に自宅での様子も伺い、状態を把握する	A
	サービスの質の確保に関する項目	A	マニュアルを見やすい場所に備え、随時更新毎に職員に回覧する 不明な内容があればその都度明確にし、各種マニュアルの理解を深めるために、定期的に勉強会を開催する	A	マニュアルを見やすい場所に備え、随時更新毎に職員に回覧し、周知した。しかしマニュアルを効果的に活用しきれなかったり、勉強会の開催ができなかった	C	マニュアルを見やすい場所に備え、随時更新毎に職員に回覧する 不明な内容があればその都度明確にし、各種マニュアルの理解を深めるために、定期的に勉強会を開催する	A
		A	ご利用者の状態に応じて、カンファレンス前に情報提供・提案・評価を行い、ケアマネジャー・ご利用者・ご家族・関係機関同席のもと、カンファレンスを開催する	A	必要に応じケアマネジャー・ご利用者・ご家族・関係機関同席のもと、カンファレンスを開催し、情報提供及び確認・見直しを行った	A	ご利用者の状態や変化に応じて、カンファレンス前に情報提供・提案・評価を行い、ケアマネジャー・ご利用者・ご家族・関係機関同席のもと、カンファレンスを開催する	A
		A	ご利用者・ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	A	ご利用者・ご家族にアンケート調査を行い、結果を分析した上で業務改善を図る	B	ご利用者・ご家族とのコミュニケーションを図る中で情報を収集し、カンファレンス等で業務改善を検討したもアンケート調査の実施はできなかった	A
	他機関との連携に関する項目	A	ご利用者、ご家族、ケアマネジャーを通じて、または事業所より確認後、ご利用者基本情報・緊急持ち出しカードに記載し、かかりつけ医と連携を図る	A	ご利用者、ご家族、ケアマネジャーに確認したり、事業所より確認後、ご利用者基本情報・緊急カードに情報を記載し、かかりつけ医と連携を図った。必要時は電話にて、医師や看護師に確認を取った	A	ご利用者、ご家族、ケアマネジャーからの情報を把握し、不明な点はかかりつけ医等と電話やFAX等で確認し、常に明確しておく。ご利用者基本情報・緊急カードに情報をしっかり記載し、かかりつけ医や救急医と連携を図る	A
衛生管理に関する項目	A	国・県・市、保健所、法人からの通達や、法人の感染予防委員会を中心に策定したマニュアルを基に、日々の感染予防対策を徹底する マニュアルが更新された時及び法人より方針が示された際は、職員へ周知徹底し、法人内研修・勉強会を開催し、情報共有する	A	国・県・市、保健所、法人からの通達や、法人の感染予防委員会を中心に策定したマニュアルを基に、日々の感染予防対策を継続し、感染予防対策を徹底した マニュアルが更新された時及び法人より方針が示された際は、職員へ周知徹底し、法人内研修・勉強会を開催し、情報共有した。またご家族にも連絡し、感染予防を図った	A	国・県・市、保健所、法人からの通達や、法人の感染予防委員会を中心に策定したマニュアルを基に、日々の感染予防対策を徹底する マニュアルが更新された時及び法人より方針が示された際は、職員へ周知徹底し、法人内研修・勉強会を開催し、情報共有する	A	
サービス地域提供体制	広報・情報提供に関する項目	C	民生委員会への出席や交流を行い、町内住民も参加しやすいイベントを実施し、参加しやすい環境を整える	A	保育園児来訪・「社会に学ぶ14歳の挑戦」の生徒受入れ、教育実習介護体験を通じ、事業所を理解していただくことができた 花まつりコンサートや秋祭りを開催し、地域住民との交流の場を設け、地域からの参加者もして頂けた	A	民生委員会への出席や交流を行い、パンフレットの配布もを行い、町内住民も参加しやすいイベントを実施し、参加しやすい環境を整える	A
	ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。	A	ボランティアネットワークを通じ、多種多様なボランティアに参加していただく	A	事業所の特色を説明し、多種多様なボランティアの参加を受け入れた	A	ボランティアネットワークや、ご利用者のご家族・知人などを通じ、多種多様なボランティアに参加していただく	A
サービスの内容	個々のサービスに関する項目	A	季節感あふれる献立、イベント食の提供、テラスでの昼食会や手作り料理教室を実施し、食事のスタイルに変化をもたせる。ご利用者に楽しく食事をしていただけるような雰囲気づくりに努め、フロアに週間献立表を掲示する	A	ご利用者が食事作りに参加したり、季節感が感じられる献立、イベント食の提供、ウッドデッキでの食事を実施し、ご利用者に楽しく食事をしていただける雰囲気作りを記述した	A	ご利用者が食事作りに参加したり、季節感あふれる献立、イベント食の提供、テラスでの昼食会や手作り料理教室を実施し、食事のスタイルに変化をもたせる。ご利用者に楽しく食事をしていただけるような雰囲気づくりに努め、フロアに週間献立表を掲示する	A
	食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか。	A	テーブル、椅子、床は拭き掃除後に消毒し、ご利用者には、食前の手洗い・手指消毒をしていただく 職員は、配膳前に手洗い・うがいを徹底し、感染の予防を図る	A	テーブル、椅子、床は拭き掃除後に消毒し、ご利用者には食前の手洗いと手指消毒を徹底し、感染予防に努めた	A	食事スペースの環境整備・掃除・消毒を徹底し、ご利用者に食前の手洗い・手指消毒をしていただく 職員は、配膳前に手洗い・うがいを徹底し、感染の予防を図る	A

評価項目		H28年度評価	H29年度目標と予算要求	H29年度目標	H29年度実施状況	H29年度評価	H30年度目標と予算要求	H30年度目標		
④	サ ー ビ ス 内 容 評 価 表	個々のサービスに関する項目	心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者の心身の状態やADLを把握し、個別の介助方法を行うとともに、排泄の状況を確認しプライバシーの尊重に配慮する	A	ご利用者の心身の状態やADLに合わせ、介助方法を検討し、排泄介助を行った	A	ご利用者の心身の状態やADLを把握し、個別の介助方法を行うとともに、排泄の状況を確認しプライバシーの尊重に配慮する	A
			ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者の心理面に配慮し、1日の中で定期的に見守りや声掛けをし、プライバシーを尊重しながら、いつでも遠慮することなく排泄できる介助をする	A	自立支援を念頭におきながらも、ご利用者の気持ちも配慮し、常にプライバシーの尊重を図りながら、排泄介助を行った	A	ご利用者の心理面に配慮し、1日の中で定期的に見守りや声掛けをし、プライバシーを尊重しながら、いつでも遠慮することなく排泄できる介助をする	A
			認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか。	A	施設外研修に参加し、最新の知識やケアを取り入れ、全職員で共有し、個別ケアプログラムの提供を行う	A	外部研修に参加できたが、全職員への共有と伝達が不十分であった。しかし認知症の状態に配慮した個別ケアの提供はできていた	B	ご利用者の日常の様子を把握・記録し、事例検討やカンファレンスを行い情報を共有し、認知症の状況を総合的に判断する。生活のリズムがとれ、笑顔で過ごせるケアを目標とした、個別ケアを提供する	A
			認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。	B	お一人おひとりに合わせた個別ケアを提供するため、職員が専門的研修に参加する。ご家族、ケアマネジャー、主治医・関係機関と情報を共有し、統一したケアを行う	A	個別ケアを提供するため、職員が専門的研修に参加し、職員間で分析を行うとともに、ご家族、ケアマネジャー、主治医・関係機関と情報を共有し、適切な対応を行った	A	お一人おひとりに合わせた個別ケアを提供するため、職員が専門的研修に参加する。ご家族、ケアマネジャー、主治医・関係機関と情報を共有し、統一したケアを行う	A
			身体的・精神的な能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか。	A	外部研修や他の施設でのプログラムを参考にし、新たな集団・個別プログラムを考案し、ご利用者に楽しんでいただける企画を実施する	A	小人数制で個々の状態にあわせる事ができるため、ご利用者の嗜好を聴き取り、残存能力を把握することで、新たな集団レクリエーションプログラムや個別ケアプログラムを実施し、機能評価をすることができた	A	外部研修や他の施設でのプログラムを参考にし、新たな集団・個別プログラムを考案し、ご利用者に楽しんでいただける企画を1年を通じ実施する	A
			ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか。	A	集団プログラムの他、選択プログラム、個別プログラム、外出プログラムなど、多彩な企画でレクリエーションの充実を図り、ご利用者が選択して参加できる環境を作る	A	運動や創作活動、外出企画など多彩なレクリエーションプログラムを実施することで、ご利用者が選択し楽しめる空間で参加できる環境を作ることができた	A	集団プログラムの他、選択プログラム、個別プログラム、外出プログラムなど、多彩な企画でレクリエーションの充実を図り、ご利用者が選択して満足できる環境を作る	A
⑤	サ ー ビ ス 内 容 評 価 表	各サービスに共通な項目	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけ自分で取り組んで頂けるよう配慮していますか。	A	ご利用者の在宅での状態や、できることを把握し、意向を充分聴き取り、ADLの維持向上を目指す意欲を引き出す言葉掛けの工夫や見守り支援を行い、介護者側とご利用者・ご家族との合意のもと、個別援助計画を作成し個別ケアを行う	A	ご利用者のできることを把握し、ご利用者の意向を充分聴き取り、ADLの維持向上を目指す意欲を引き出す言葉掛けの工夫や見守り支援を行った。介護者側とご利用者・ご家族との合意のもと、個別援助計画を作成し、個別ケアを行った	A	ご利用者の在宅での状態や、できることを把握し、意向を充分聴き取り、ADLの維持向上を目指す意欲を引き出す言葉掛けの工夫や見守り支援を行い、介護者側とご利用者・ご家族との合意のもと、個別援助計画を作成し個別ケアを行う	A
			ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか。	A	ケアマネジャーやかかりつけ医へ相談するとともに、理学療法士・作業療法士・看護師・福祉用具専門員からの情報や知識を収集・活用し、自立支援を行う	A	ケアマネジャーやかかりつけ医へ相談するとともに、理学療法士・作業療法士・看護師・福祉用具専門員からの情報や知識を収集・活用し、自立支援を行った	A	ケアマネジャーやかかりつけ医へ相談するとともに、理学療法士・作業療法士・看護師・福祉用具専門員からの情報や知識を収集・活用し、自立支援を行う	A
			ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか。	A	ご利用者の尊厳を守り、失礼の無いよう、丁寧かつ年長者を敬う言葉遣いや、知的障害を持つ若者にも理解しやすい言葉遣いを心掛け、相手に不快感を与えないよう注意する。また、親しみをこめたニュアンスや方言など、温かみを感じられる言葉遣いで、真心をこめたコミュニケーションを図るよう努める	A	ご利用者の尊厳を守り、失礼の無いよう丁寧かつ年長者を敬う言葉遣いや、知的障害を持つ若者にも理解しやすい言葉遣いを心掛け、相手に不快感を与えないよう注意した。また、親しみをこめたニュアンスや方言など、温かみを感じられる言葉遣いでコミュニケーションを図るよう努めた	A	ご利用者の尊厳を守り、失礼の無いよう、丁寧かつ年長者を敬う言葉遣いや、知的障害を持つ若者にも理解しやすい言葉遣いを心掛け、相手に不快感を与えないよう注意する。また、親しみをこめたニュアンスや方言など、温かみを感じられる言葉遣いで、真心をこめたコミュニケーションを図るよう努める	A
			サービスの提供にあたって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか。	A	ご利用者・ご家族から伺った意見を職員間で情報共有し、できる限り要望を尊重する。サービス導入後も、意向に沿ったサービスが提供されているかの都度確認を行う	A	ご利用者・ご家族の意見を職員全員で共有し、できる限り意見を取り入れサービスに反映することができた	A	ご利用者・ご家族から伺った意見を職員間で情報共有し、できる限り要望を尊重する。サービス導入後も、意向に沿ったサービスが提供されているかの都度確認を行う。万が一取り入れられないサービスがあれば、理解を得るまで理由等の説明を行う	A
			サービス提供の前後に関する項目	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか。	A	感染予防のため、出勤時の検温・うがい・手洗いの徹底、マスクの着用、プラスチックグローブ・消毒液のセット確認を必ず実施する。申し込み・引き継ぎ・連絡ノートの確認後、サービス提供にあたる	A	感染予防のため、出勤時の検温・うがい・手洗い、マスクの着用を徹底した。申し込み・引き継ぎ・連絡ノートの確認後、サービス提供に努めた	A	感染予防のため、出勤時の検温・うがい・手洗いの徹底、マスクの着用、プラスチックグローブ・消毒液のセット確認を必ず実施する。申し込み・引き継ぎ・連絡ノートの確認後、サービスの変更・ご利用者の状態の変化をしっかりと把握し、サービス提供にあたる
サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか。	A	報告・事後処理を行う	A	実施できた	A	報告・記録を行う	A			

10 花みずき参番館

A非常に優れており他の施設・事業所の模範となる(優)
B 一般的によくできている(良)

C 概ね適正であるが、一部改善の余地がある(可)
D 重要な事項または多くの項目において未達成である(不可)

花みずき参番館

評価項目		H28年度 評価	H29年度目標と予算要求	H29年度 目標	H29年度実施状況	H29年度 評価	H30年度目標と予算要求	H30年度 目標
① サ ー ビ ス 提 供 の 様 式	利用申込みから利用終了までの手続きに関する項目	利用希望者の方に対して、サービスの概要を利用申込み前に充分に知らせていますか。	B 全職員が、小規模多機能型居宅介護の特徴と利便性について理解し、見学マニュアルを基にサービスの内容を説明できる	A	職員の離職もあり、充分に対応できないところがあった	B	全職員が、小規模多機能型居宅介護の特徴と利便性について理解し、見学マニュアルを基にサービスの内容を説明できる	A
		利用申込み手続きを簡便化する工夫を行っていますか。	A ケアマネジャーから提供された情報を十分に生かし、情報不足があればポイントをおさえた聞き取りを行い、手続きの簡便化を図る	A	ケアマネジャーから提供された情報を生かし、パンフレットと申込書を配布し、手続きの簡便化を図った	A	情報不足があればポイントをおさえた聞き取りを行い手続きの簡便化を図る	A
		利用申請から利用決定までの時間の短縮を行っていますか。	A 利用申請後、速やかにご本人やご家族と連絡を取り、スムーズな利用に結び付ける	A	利用申請後、直ちにご家族と連絡を取り、早急に利用開始の連絡を行った	A	利用申請後、速やかにご本人やご家族と連絡を取り、スムーズな利用に結び付ける	A
		サービス利用の可否を決定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	A 専門職と十分に話し合う機会を持ち、各サービス利用の可否を決定する	A	専門職の参加を得てカンファレンスを行い、サービス利用の可否を決定した	A	専門職と話し合う機会を持ち、各サービス利用の可否を決定する	A
		ご利用者の状況に応じて、利用回数、時間、期間等の調整を行っていますか。	A ご利用者の要望に沿うように、利用回数、時間等について提案と説明を行い、同意を得た上で調整する	A	ご利用者の希望に沿うよう、必要に応じご家族へ連絡し、利用の調整を行った	A	ご利用者の要望に沿うように、利用回数、時間等について提案と説明を行い、同意を得た上で調整する	A
		ご利用待ちの方に対して訪問を行う等、定期的な連絡、状況把握を行っていますか。	B 待機者名簿を作成し、ご利用者・ご家族・ケアマネジャーと定期的に連絡を取り合い、情報収集・状況把握を行う	A	定期的にご利用者・ご家族から話を伺い、状況把握に努めた	B	待機者名簿を作成し、ご利用者・ご家族・ケアマネジャーと定期的に連絡を取り合い、情報収集・状況把握を行う	A
		定期的、または必要に応じて、個々のご利用者の利用可否について見直しを行っていますか。	A 定期的あるいは入院時など、必要に応じて、個々の利用可否について見直しを行う	A	状況確認を行い、カンファレンスで検討したうえで、ご利用者の利用可否について見直しを行った	A	入院時など必要に応じて、個々の利用可否について見直しを行う	A
	個別援助計画に関する項目	個別援助計画を策定し、それに基づくサービス実施を行っていますか。	B ケアプランに基づいた個別援助計画を策定し、全職員がサービス内容を共有し、個性の高いサービスを提供する	A	個別性を重視した個別援助計画を作成し、サービスを実施した	B	ケアプランに基づいた個別援助計画を策定し、全職員がサービス内容を共有し、個性の高いサービスを提供する	A
		個別援助計画を策定する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行いますか。	A 各専門職のカンファレンス参加や助言を得て、お一人おひとりに合わせて個別援助計画を策定する	A	各専門職のカンファレンス参加や助言を得て、個別援助計画を策定した	A	各専門職のカンファレンス参加や助言を得て、お一人おひとりに合わせて個別援助計画を策定する	A
		個別援助計画策定にあたって、ご利用者・ご家族の参加と同意を得ていますか。	A 個別援助計画作成において、適切なサービスを提供するため、ご本人・ご家族と協働して策定する	A	ご本人とご家族へ説明を行い、同意を得て、個別援助計画を策定した	A	個別援助計画作成において、適切なサービスを提供するため、ご本人・ご家族と協働して策定する	A
		援助の経過を正確に観察・評価し、必要に応じて個別援助計画の見直しを行っていますか。	A 援助経過の観察・評価を正確に行い、個別援助計画を定期的に見直す	A	援助経過を正確に観察し、カンファレンスを開催し速やかに個別援助計画の見直しを行った	A	援助経過の観察・評価を正確に行い、個別援助計画を定期的に見直す	A
	ご利用者・ご家族とのコミュニケーションに関する項目	定期的または必要に応じて、ご利用者・ご家族との相談や意見収集の機会を持っていますか。	B 家族懇談会を開催し、意見や要望を伺い、サービス全般に対するご家族の思いを知る	A	運営推進会議に加え、必要に応じて家族懇談会を開催し、相談・意見収集を行った	B	家族懇談会を開催し、意見や要望を伺い、サービス全般に対するご家族の思いを知る	A
ご家族との連携・コミュニケーションを確保するように努めていますか。		A カンファレンスや送迎時の他、連絡帳やメール、電話を通し、ご家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築と円滑な連携に努める	A	送迎時や、連絡帳、電話、メール、面会等を通じて、コミュニケーションを図った	A	カンファレンスや送迎時の他、連絡帳やメール、電話を通し、ご家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築と円滑な連携に努める	A	
ご家族への介護技術指導を定期的、または必要に応じて行っていますか。		C ご家族の意向を伺い、要望に応じた講習会を開催する	A	ご家族からの相談があった場合は、その都度適切な指導と助言を行った	C	ご家族の意向を伺い、要望に応じた講習会を開催する	A	
ご利用者の記録に関する項目	ご利用者に関する情報を適切に記録していますか。	A 介護サービスやご利用者の変化に関する情報は適切に記録する	A	サービスに関する検討や改善のため、適切に記録した	A	介護サービスやご利用者の変化に関する情報は適切に記録する	A	
ご利用者のプライバシーに関する項目	ご利用者の人権やプライバシー保護に適切な配慮を行っていますか。	A 職場内及び職員間で個人情報の管理を徹底し、カンファレンスにおいても情報管理を徹底する	A	守秘義務の徹底と、カンファレンスの際の情報管理に努めた	A	職場内及び職員間で個人情報の管理を徹底し、カンファレンスにおいても情報管理を徹底する	A	
② サ ー ビ ス に 比 し て 提 供	職員の配置体制に関する項目	個々のサービスの提供に関して、定期的、または随時に指導・助言が行われる体制がとられていますか。	A ケアマネジャー・関係機関へ状況を報告・相談し、助言・指導を受け、連携を図る	A	関係機関へ状況を報告・相談し、助言・指導を受け、サービスの改善を図った	A	ケアマネジャー・関係機関へ状況を報告・相談し、助言・指導を受け、連携を図る	A
		ご利用者の送迎を効果的に行っていますか。	A ご利用者の状態やご家族からの要望に柔軟に対応し、利用時間に合わせて送迎時間を調整する	A	ご家族からの要望に柔軟に対応し、送迎を行った	A	ご利用者の状態やご家族からの要望に柔軟に対応し、利用時間に合わせて送迎時間を調整する	A
	サービスの質の確保に関する項目	サービスに関するマニュアル等を利用し、職員に徹底していますか。	A 随時マニュアルを更新し、各種マニュアル内容への理解の共有を図り、業務改善に繋げる	A	定期的マニュアルを見直し、内容を職員間で共有した	A	随時マニュアルを更新し、各種マニュアル内容への理解の共有を図り、業務改善に繋げる	A
		定期的、または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。	A 個別援助計画作成時のアセスメント及び、定期的なカンファレンスを実施し、情報提供や意見収集を行う	A	必要に応じカンファレンスを実施し、情報提供及び意見収集を行った	A	個別援助計画作成時のアセスメント及び、定期的なカンファレンスを実施し、情報提供や意見収集を行う	A
	職員、ご利用者、ご家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	B ご利用者、ご家族からの提案には、職員全体で意見交換を行い早急に対応し、サービス向上を図るため職員会議を開催する	A	アンケートや運営推進会議等において寄せられた意見・提案内容を、参番館会議において検討し、業務改善に結びつけた	B	ご利用者、ご家族からの提案には、職員全体で意見交換を行い早急に対応し、サービス向上を図るため職員会議を開催する	A	

評価項目		H28年度評価	H29年度目標と予算要求	H29年度目標	H29年度実施状況	H29年度評価	H30年度目標と予算要求	H30年度目標	
提② つ供サ い体1 制ビ てにス	他機関との連携に関する項目	A	ご利用者のかかりつけ医を確認し、連携を確保していますか。	A	ご本人、ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し連携を図るとともに、緊急時対応マニュアルを整備する	A	体調急変時には、ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医とも連携を図った	A	ご本人、ご家族、ケアマネジャーを通じて、かかりつけ医を確認し連携を図るとともに、緊急時対応マニュアルを整備する
	衛生管理に関する項目	A	感染症予防のための必要な対策を講じていますか。	A	保健所・県・市・法人からの通達や、感染予防委員会が策定したマニュアルを元に、日々の感染予防管理を徹底するため勉強会を開催する	A	保健所・県・市・法人からの通達や、感染予防委員会が策定したマニュアルを元に、日々の感染予防管理を徹底するため勉強会を開催し、職員とも情報共有した	A	保健所・県・市・法人からの通達や、感染予防委員会が策定したマニュアルを元に、日々の感染予防管理を徹底するため勉強会を開催する
サ③ 体1 域ビ 域全 制ス 体 供の	広報・情報提供に関する項目	C	地域との交流に努めていますか。	A	地域団体との連携を図り、地域行事への参加や住民の来訪をすすめ、開放的な環境をつくる	A	イベント時に地域との交流を図ったが、学校や保育園等への働きかけが不十分であった	C	地域団体との連携を図り、地域行事への参加や住民の来訪をすすめ、開放的な環境をつくる
		A	ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。	A	地域ボランティアを積極的に受け入れ、ご利用者の日々の生活をよりバラエティに富んだものにする	A	紹介による新しいボランティアを受け入れた	A	地域ボランティアを積極的に受け入れ、ご利用者の日々の生活をよりバラエティに富んだものにする
④ サ ー ビ ス 内 容	個々のサービスに関する項目	A	食事をおいしく食べられる雰囲気作りを行っていますか。	A	ランチドライブの企画やウッドデッキでの食事を実施し、普段の食事と違う環境を提供する	A	季節感のある食事、季節に応じた話題でコミュニケーションを図り、ゆったりとした雰囲気作りに努めた	A	ランチドライブの企画やウッドデッキでの食事を実施し、普段の食事と違う環境を提供する
		A	食前・食後の衛生面の配慮を行っていますか。	A	食前の手洗いと手指消毒の徹底、食後は口腔ケアを励行する	A	手洗い・手指消毒を徹底し、食後は口腔ケアを行った	A	食前の手洗いと手指消毒の徹底、食後は口腔ケアを励行する
		A	心身の状態に合わせた排泄介助を行っていますか。	A	プライバシーの保護に努めるとともに、ご利用者の心身の状態に合わせた排泄介助を実施し、必要な物品の提案をする	A	ご利用者のプライバシーの保護に努め、職員間で情報を共有し、心身の状態に合わせた介助を行った	A	プライバシーの保護に努めるとともに、ご利用者の心身の状態に合わせた排泄介助を実施し、必要な物品の提案をする
		A	ご利用者の心理面に配慮した排泄介助を行っていますか。	A	ご利用者の心理面に配慮しながら、プライバシーを尊重し、見守り・声掛け・介助を行う	A	ご利用者の心理面に配慮しながら、プライバシーを尊重し、見守り・声掛け・介助を行った	A	ご利用者の心理面に配慮しながら、プライバシーを尊重し、見守り・声掛け・介助を行う
		A	認知症の状態に配慮したプログラムが用意されていますか。	A	事例やカンファレンスを参考に個別プログラムを検討し、ケアプランに活かす実施する	A	認知症の状態に配慮し、お一人おひとりにあった個別プログラムを用意した	A	事例やカンファレンスを参考に個別プログラムを検討し、ケアプランに活かす実施する
		A	認知症高齢者の行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。	A	認知症高齢者の言動の変化に気づく観察力を養い、安心・安全な生活を提供できるよう統一した対応を心掛ける	A	ご家族・関係機関と情報共有し、ご利用者の行動に対する適切な対応を行った	A	認知症高齢者の言動の変化に気づく観察力を養い、安心・安全な生活を提供できるよう統一した対応を心掛ける
		A	身体的・精神的能力・性別・嗜好等を考慮したレクリエーションプログラムを実施していますか。	A	レクリエーションのバリエーションを増やし、多くのご利用者に楽しんでいただけるものを企画し実施する	A	ご利用者の状態や嗜好を考慮し工夫したレクリエーションプログラムを実施した	A	レクリエーションのバリエーションを増やし、多くのご利用者楽しんでいただけるものを企画し実施する
A	ご利用者が積極的に参加しやすいように、レクリエーションプログラムを実施していますか。	A	集団プログラムとともに個別プログラムの充実を図る また、外出のプログラムを多く設け実施する	A	少人数での外出や、多くのご利用者に参加していただくためのレクリエーションを考案し、実施した	A	集団プログラムとともに個別プログラムの充実を図る また、外出のプログラムを多く設け実施する		
⑤ サ ー ビ ス 内 容 評 価 一 覧 表	各サービスに共通な項目	A	日常生活の全てに手を貸すのではなく、ご利用者にできるだけご自分で取り組んで頂けるよう配慮していますか。	A	ご利用者のできることを把握し、意欲を引き出す声掛けや見守りをする	A	ご利用者が意欲的に日常動作を行えるよう声掛けを工夫し対応した	A	ご利用者のできることを把握し、意欲を引き出す声掛けや見守りをする
		A	ご利用者の障害の状態により、自立生活のための福祉用具を活用するよう努めていますか。	A	ケアマネジャーやかかりつけ医へ相談するとともに、状態に合わせた福祉用具の活用について、ご本人・業者を交えて検討する	A	身体の状態変化に応じ、速やかに福祉用具専門員に相談・検討し活用していた	A	ケアマネジャーやかかりつけ医へ相談するとともに、状態に合わせた福祉用具の活用について、ご本人・業者を交えて検討する
		C	ご利用者への言葉遣いに対する配慮がなされていますか。	C	丁寧な言葉遣いや年長者を敬う言葉遣い、自己選択を促す話し方など、失礼のないよう配慮する	A	相手に不快感を与えないよう、コミュニケーションを図る際は充分配慮するよう努めたが、不十分だった	C	丁寧な言葉遣いや年長者を敬う言葉遣い、自己選択を促す話し方など、失礼のないよう配慮する
		A	サービスの提供にあたって、ご利用者・ご家族の意見をできる限り尊重するように努めていますか。	A	ご利用者・ご家族の意見を把握し、できる限り要望を尊重するよう努めるとともに、必要な支援について根拠に基づく説明ができる	A	ご利用者やご家族の意見・要望を尊重し、サービスに反映することができた	A	ご利用者・ご家族の意見を把握し、できる限り要望を尊重するよう努めるとともに、必要な支援について根拠に基づく説明ができる
	サービス提供の事前事後に関する項目	A	サービス提供前に、準備・確認を行っていますか。	A	サービス提供前に、連絡や報告の確認を行う	A	サービス提供前に、連絡や報告の確認を行った	A	サービス提供前に、連絡や報告の確認を行う
A	サービス提供後に、報告・事後処理を行っていますか。	A	サービス提供後に、報告・事後処理を忘れず行う	A	サービス提供後に、報告・事後処理を行った	A	サービス提供後に、報告・事後処理を忘れず行う	A	サービス提供後に、報告・事後処理を忘れず行う